



令和元年度

地方自治法第 233 条第 5 項の規定による 主要な施策の成果表

栗山町総合計画の策定と運用に関する条例第8条の規定による、
栗山町第6次総合計画 進行管理計画の公表資料

閲覧用

※冊子が必要な方は事務所窓口または
町経営企画課行政経営グループまで
ご連絡ください

北海道栗山町

目次

全体概要	1
(1) 分野別事業一覧	2
(2) 事業費・財源内訳比較	3
計画事業の会計別決算状況	5
(1) 一般会計	6
(2) 国民健康保険特別会計	21
(3) 北海道介護福祉学校特別会計	21
(4) 介護保険特別会計	22
(5) 後期高齢者医療特別会計	23
(6) 住宅団地造成事業特別会計	23
(7) 工業団地造成事業特別会計	24
(8) 水道事業会計	24
(9) 下水道事業会計	24
計画事業別決算状況	25
I 生活環境	26
(1) ごみ処理	26
(2) 環境・エネルギー	29
(3) 防 災	32
(4) 消防・救急	36
(5) 生活安全	39
II 教 育	43
(1) 学校教育	43
(2) 生涯教育	59
(3) 自然環境教育	66
(4) スポーツ	69
(5) 芸術・文化	72
(6) 国際・地域間交流	75
III 医療・保健・福祉	77
(1) 保 健	77
(2) 地域医療	82
(3) 児童福祉	84
(4) 高齢者福祉	91
(5) 地域福祉	94
(6) 障がい者福祉	96

IV	産 業	98
(1)	農 林 業	98
(2)	商 工 業	107
(3)	観光・交流産業	111
(4)	雇用環境	115
V	都市基盤	117
(1)	道路・交通	117
(2)	住宅・住環境	123
(3)	上・下水道	127
(4)	河 川	130
(5)	街なみ・景観	132
VI	地域経営	139
(1)	コミュニティ活動	139
(2)	行政経営	142
(3)	情報共有と町民参加	149

全体概要

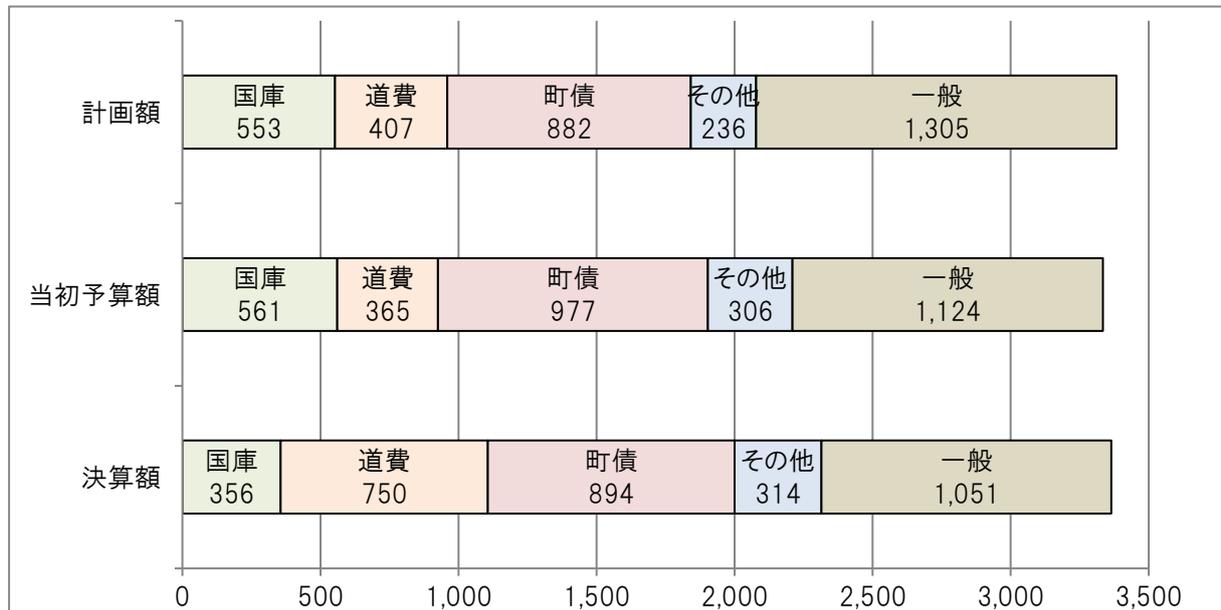
(1) 分野別事業一覧

(単位：千円)

政策分野		金額						
		国庫	道費	町債	その他	一般		
I	生活環境	計画額	342,020	25,324	400	137,600	1,100	177,596
		当初予算額	337,423	37,606	0	133,300	39,263	127,254
		決算額	290,190	0	598	128,600	43,167	117,825
II	教育	計画額	450,895	9,075	13,723	82,100	64,940	281,057
		当初予算額	380,374	920	14,929	52,900	61,926	249,699
		決算額	400,141	8,424	7,297	71,500	65,582	247,338
III	医療・保健・福祉	計画額	326,122	26,701	29,015	2,700	43,071	224,635
		当初予算額	324,243	28,099	36,257	31,400	54,156	174,331
		決算額	302,754	25,132	35,513	33,500	65,688	142,921
IV	産業	計画額	719,723	9,397	362,378	19,500	102,752	225,696
		当初予算額	646,273	0	312,527	22,800	124,292	186,654
		決算額	1,134,377	7,167	705,687	103,055	120,639	197,829
V	都市基盤	計画額	1,463,581	482,407	125	640,300	23,917	316,832
		当初予算額	1,556,997	491,784	250	734,400	23,774	306,789
		決算額	1,156,440	312,421	0	540,039	15,400	288,580
VI	地域経営	計画額	80,677	222	1,059	0	213	79,183
		当初予算額	88,548	2,391	1,225	2,500	2,913	79,519
		決算額	80,976	2,540	1,107	0	3,618	73,711
計		計画額	3,383,018	553,126	406,700	882,200	235,993	1,304,999
		当初予算額	3,333,858	560,800	365,188	977,300	306,324	1,124,246
		決算額	3,364,878	355,684	750,202	894,068	314,094	1,050,830

(2) 事業費・財源内訳比較

(単位：百万円)



前頁の表と上記のグラフは、栗山町第6次総合計画における計画事業の事業費を「計画策定時の額」、「令和元年度の当初予算額」、「令和元年度の決算額」で比較したものです。

計画策定時は3,383,018千円の事業費を見込んでいましたが、当初予算額は3,333,858千円で、計画額に対し49,160千円の減となりました。

決算額は3,363,870千円で、当初予算額に対し30,012千円の増となりました。主な要因としては、農業部門において、そらち南農業協同組合が整備した大豆低温貯蔵施設への助成（計画事業No.205）によるものですが、道費補助金の確保や交付税算入対象となる町債の借入れにより実質の一般財源を抑えながら事業を実施しました。

計画事業の会計別決算状況

(1) 一般会計【会計番号 01】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
02. 総務費	01. 総務管理費	01. 一般管理費	3,797 千円	【No.175】時代に対応できる行政職員を育成します。 (1,842 千円)	146
				【No.182】予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。 (1,955 千円)	150
		02. 文書広報費	10,112 千円	【No.180】広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。 (10,056 千円)	149
				【No.187】町長のまちづくり懇談会やふれあい訪問を行い、町政への町民参画を推進します。(56 千円)	153
		05. 町有林管理費	10,599 千円	【No.121】造林事業などにより適正な森林管理を推進します。(10,599 千円)	106
		09. 交通安全対策費	2,529 千円	【No.021】交通安全運動・教育を推進します。 (1,630 千円)	39
				【No.195】高齢運転免許証保有者の免許証自主返納を支援します。(899 千円)	40
		10. 交通安全施設費	3,000 千円	【No.022】交通安全施設の整備を進めます。 (3,000 千円)	40
		12. 企画費	15,839 千円	【No.138】地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。 (8,195 千円)	120

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
02. 総務費	01. 総務管理費	12. 企画費	15,839 千円	【No.164】まちづくり協議会などの地域活動を支援します。(2,478 千円)	139
				【No.167】町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。(1,127 千円)	141
				【No.168】総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。(311 千円)	142
				【No.179】地域振興費や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。(1,674 千円)	148
				【No.184】栗山町史(平成史)を編集・発刊します。(2,032 千円)	151
				【No.203】持続可能な地域公共交通システムを構築します。(22 千円)	122
		15. 姉妹都市交流費	850 千円	【No.078】姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業を行います。(850 千円)	76
		16. 国際交流費	3,931 千円	【No.077】少年ジェット派遣事業を行います。(2,988 千円)	75
				【No.199】介護学生とフィンランド学生との交換留学を行います。(943 千円)	76
		18. バス路線維持費	74,781 千円	【No.139】町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。(74,781 千円)	121

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
02. 総務費	01 総務管理費	19. 情報推進費	58,147 千円	【No.177】情報システムの活用により、行政事務の効率化・及び町民サービスの向上を図ります。 (38,360 千円)	147
				【No.178】情報通信基盤・機器の活用により、行政事務の効率化および町民サービスの向上を図ります。 (19,787 千円)	147
		20. 防災対策費	35,568 千円	【No.011】災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。(5,170 千円)	33
				【No.012】災害時の電源・燃料確保を推進します。 (29,700 千円)	33
				【No.013】災害時の情報伝達手段を充実します。 (662 千円)	34
				【No.015】防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。(36 千円)	35
		22. 定住促進費	20,055 千円	【No.091】妊娠・出産・子育てに関する、相談機能と相談機能を充実します。 (60 千円)	84
				【No.129】栗山町への移住・定住を促進します。 (14,061 千円)	113
				【No.143】若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。(4,257 千円)	125
				【No.192】くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。(1,677 千円)	114

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁	
02. 総務費	01. 総務管理費	23. 地域経済活性化・地方創生対策費	22,404 千円	【No.192】くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。(8,317 千円)	114	
				【No.193】ものづくりDIY工場の導入・活用を推進します。(14,087 千円)	109	
	02. 徴税費	02. 賦課徴収費	1,084 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(1,084 千円)	144	
	05. 統計調査費	01. 統計調査総務費	33 千円	【No.171】各種統計データにより、町勢の現状を分析し、まちづくりに活用します。(33 千円)	144	
03. 民生費	01. 社会福祉費	01. 社会福祉総務費	15,851 千円	【No.023】地域の防犯・安全運動を推進します。(401 千円)	41	
				【No.024】防犯灯（街路灯）の適切な配置を推進します。(4,854 千円)	41	
				【No.106】地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。(10,596 千円)	95	
		02. 老人福祉費		12,591 千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(11,428 千円)	92
					【No.105】高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。(1,163 千円)	94
		04. 心身障害者福祉費		5,419 千円	【No.107】障がい者の自立した地域生活を支援します。(1,714 千円)	96
	【No.108】障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。(3,705 千円)		97			

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
03. 民生費	02. 児童福祉費	01. 児童福祉総務費	34,628 千円	【No.092】子ども医療費を助成します。 (25,941 千円)	85
				【No.093】子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。 (7,569 千円)	85
				【No.096】要保護児童対策の強化を目指し、効果的な組織体制づくりを進めます。 (40 千円)	88
				【No.098】心身障がい児の療育サービス利用に係る費用負担の軽減を図ります。 (1,078 千円)	89
		02. 保育所運営費	11,072 千円	【No.095】民間保育園などと連携を図り、保育・教育の質を高めます。 (11,072 千円)	87
		03. 児童福祉施設費	31,012 千円	【No.093】子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実を図ります。 (4,925 千円)	85
				【No.094】児童の遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。 (24,490 千円)	86
				【No.097】心身に障がいや発達の遅れのある子どもを支援します。(1,216 千円)	89
				【No.100】栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。(381 千円)	90
		04. 衛生費	01. 保健衛生費	01. 保健衛生総務費	347 千円

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
04. 衛生費	01. 保健衛生費	02. 予防費	20,808 千円	【No.079】がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。(4,816 千円)	77
				【No.080】脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。(5,662 千円)	78
				【No.081】バランスのとれた食生活や運動習慣の習得など、より良い生活習慣への改善を推進します。(260 千円)	78
				【No.082】乳幼児「う歯」予防、成人・高齢者の歯周病予防など、口腔の健康づくりを推進します。(2,006 千円)	79
				【No.083】妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。(7,207 千円)	79
				【No.084】ストレス要因の軽減や早期発見・支援など、こころの健康づくりを推進します。(247 千円)	80
				【No.085】地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。(610 千円)	80
		03. 地域医療対策費	94,684 千円	【No.088】地域に必要な医療水準の維持に努めます。(35,128 千円)	82
				【No.089】在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。(700 千円)	83

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
04. 衛生費	01. 保健衛生費	03. 地域医療対策費	94,684千円	【No.090 初期救急医療の確保に努めるとともに、二次救急病院への支援をします。(58,856千円)	83
		04. 環境衛生費	210千円	【No.009】公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。(210千円)	31
	02 清掃費	01. 清掃総務費	473千円	【No.006】町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。(473千円)	29
		02. 塵芥処理費	155,536千円	【No.001】中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。(107,315千円)	26
				【No.002】ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。(105千円)	27
				【No.003】老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。(16,221千円)	27
				【No.004】埋立てごみの減容を推進します。(25,984千円)	28
【No.005】広域組合加入による共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。(5,911千円)	28				
05. 労働費	01. 労働費	01. 労働総務費	51千円	【No.130】勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。(51千円)	115

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
05. 労働費	01. 労働費	02. 勤労者福祉センター費	5,764 千円	【No.130】勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。 (5,764 千円)	115
06. 農林水産業費	01. 農業費	02. 農業総務費	6,394 千円	【No.118】有害鳥獣駆除対策を推進します。 (6,394 千円)	103
		03. 農業振興費	765,800 千円	【No.111】営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。 (2,602 千円)	99
			【No.112】栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。(107,631 千円)	100	
			【No.113】農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。(1,000 千円)	101	
			【No.116】自然環境保全・景観形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。(182,583 千円)	102	
			【No.117】中山間地域等の農業生産・多面的な機能確保を支援します。 (153,593 千円)	103	
			【No.120】農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。(198 千円)	105	
			【No.205】大豆を安定的に生産・供給するための施設整備を支援します。 (353,950 千円)	105	
		04. 総合土地改良事業費	62,718 千円	【No.114】国営事業などによる計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。 (25,504 千円)	101

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
06. 農林水産業費	01. 農業費	04. 総合土地改良事業費	62,718 千円	【No.115】道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。 (37,214 千円)	102
		05. 農業担い手育成費	39,426 千円	【No.109】農業後継者の育成を図ります。(3,659 千円)	98
				【No.110】新規就農者の受け入れを進めます。 (35,767 千円)	99
		06. エゾシカ食肉加工施設費	97 千円	【No.118】有害鳥獣駆除対策を推進します。 (97 千円)	103
	02. 林業費	01. 林業振興費	12,162 千円	【No.121】造林事業などにより適正な森林管理を推進します。(12,162 千円)	106
	07. 商工費	01. 商工費	01. 商工振興費	144,219 千円	【No.008】環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。 (990 千円)
【No.025】消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。 (1,297 千円)					42
【No.122】賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。(10,237 千円)					107
【No.123】積極的な企業誘致活動を行います。 (3,253 千円)					108
【No.124】町内商工業者の経営安定・改善などを支援します。(129,445 千円)					108

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
07. 商工費	01. 商工費	02. 観光費	14,282 千円	【No.125】新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。 (13,122 千円)	111
				【No.126】「栗の活用」を推進し、新たな特産品や観光資源の創出を図ります。 (1,160 千円)	112
08. 土木費	02. 道路橋梁費	02. 道路維持費	28,174 千円	【No.135】町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。 (28,174 千円)	119
			19,305 千円	【No.136】町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。 (19,305 千円)	119
		03. 除雪対策費	132,313 千円	【No.137】冬期間における道路環境の維持・確保を図ります。 (132,313 千円)	120
		05. 地方道路整備費	92,807 千円	【No.133】幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。 (46,750 千円)	118
			【No.134】老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。 (46,057 千円)	118	
	03. 河川費	01. 河川総務費	13,576 千円	【No.151】河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。 (13,576 千円)	130
			02. 河川整備費	1,394 千円	【No.204】雨煙別川流域河川整備を推進します。 (1,394 千円)
	04. 都市計画費	01. 都市計画総務費	225 千円	【No.160】景観資源の保全・活用を図ります。 (225 千円)	136

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
08. 土木費	04. 都市計画費	02. 都市計画整備費	207,237千円	【No.152】新町地区の再開発整備事業に取り組みます。(207,237千円)	132
		03. 公園管理費	13,486千円	【No.161】老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。(7,966千円)	137
				【No.162】御大師山周辺(栗山公園等)の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。(5,520千円)	137
	05. 住宅費	01. 住宅総務費	4,441千円	【No.144】生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組みます。(2千円)	126
				【No.145】「人にやさしい住宅助成事業」を実施し、住宅の居住性や住環境の向上を図ります。(4,439千円)	126
		03. 住宅建設費	305,951千円	【No.141】公営住宅の整備・改修を行います。(305,951千円)	123
09. 消防費	01. 消防費	01. 消防費	85,332千円	【No.016】消防車両などを計画的に更新します。(78,711千円)	36
				【No.019】老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。(4,568千円)	38
				【No.020】消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。(2,053千円)	38
10. 教育費	01. 教育総務費	04. 教育諸費	56,155千円	【No.026】学校教育におけるICTの活用を推進します。(6,122千円)	43

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
10. 教育費	01. 教育総務費	04. 教育諸費	56,155 千円	【No.027】小中学校の英語教育の質的向上、充実を図ります。(5,923 千円)	44
				【No.029】各学年において「全国標準学力検査」を実施します。(1,045 千円)	45
				【No.030】特別支援教育を推進します。(15,983 千円)	45
				【No.031】教職員による学校事務（校務）の負担軽減を図ります。(10,958 千円)	46
				【No.032】小学生のフッ化物洗口を推進します。(78 千円)	46
				【No.033】いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。(187 千円)	47
				【No.035】「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。(961 千円)	48
				【No.036】「輝け！栗っ子」児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。(70 千円)	48
				【No.037】コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。(1,144 千円)	49
				【No.038】児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。(28 千円)	49
【No.039】ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。(774 千円)	50				

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
10. 教育費	01. 教育総務費	04. 教育諸費	56,155 千円	【No.040】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。（10,857 千円）	50
				【No.196】地域と連携した「キャリア教育」を推進します。（37 千円）	51
				【No.197】栗山高校の魅力づくりを進めます。（1,864 千円）	57
				【No.198】栗山高校の未来像を話し合う町民委員会を設置します。（124 千円）	58
	02. 小学校費	01. 学校管理費	18,954 千円	【No.043】栗山小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。（3,348 千円）	52
				【No.044】角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。（15,606 千円）	53
		02. 教育振興費	2,014 千円	【No.040】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。（2,014 千円）	50
	03. 中学校費	01. 学校管理費	22,524 千円	【No.042】栗山中学校体育館の計画的な改修を行います。（22,524 千円）	52
		02. 教育振興費	2,782 千円	【No.040】各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。（2,782 千円）	50
	04. 社会教育費	01. 社会教育総務費	1,676 千円	【No.056】青少年育成会活動を支援します。（870 千円）	61
				【No.061】地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。（306 千円）	65
				【No.078】姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業を行います。（500 千円）	76

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
10. 教育費	04. 社会教育費	02. 研修講座費	506 千円	【No.055】自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。 (80 千円)	60
				【No.057】町民の多様な学びの機会づくりを行います。 (202 千円)	62
				【No.058】高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。 (224 千円)	62
		03. 公民館費	933 千円	【No.060】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。 (933 千円)	64
		04. 図書館費	49,869 千円	【No.059】町民の読書活動を支援します。 (49,869 千円)	63
		05. 文化振興費	9,007 千円	【No.072】町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。 (3,591 千円)	72
				【No.073】町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。 (310 千円)	73
				【No.074】芸術創造のまちづくりを推進します。 (35 千円)	73
				【No.075】ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。 (5,071 千円)	74
		06. 農村環境改善センター費	391 千円	【No.060】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。 (391 千円)	64
		07. 開拓記念館費	7,268 千円	【No.075】ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。 (7,268 千円)	74

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
10. 教育費	04. 社会教育費	08. 自然教育振興費	55,923 千円	【No.062】国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。 (17,469 千円)	66
				【No.063】ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。 (7,543 千円)	67
				【No.064】自然・里山環境の保全・再生に係る町の方針を宣言し、人と自然との共生を推進します。 (2 千円)	67
				【No.065】「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用を図ります。 (23,414 千円)	68
				【No.066】教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。 (7,245 千円)	68
				【No.128】自然・農村環境を活かした体験教育プログラムを開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。 (250 千円)	113
	09. カルチャープラザ費	1,270 千円	【No.060】老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。 (1,270 千円)	64	
	05. 保健体育費	01. 保健体育総務費	3,920 千円	【No.067】年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。 (3,920 千円)	69
02. 体育施設費		9,571 千円	【No.069】老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。 (9,571 千円)	70	

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
10. 教育費	05. 保健体育費	03. スポーツセンター費	9,865 千円	【No.069】老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。 (9,865 千円)	70
		05. 学校給食費	23,439 千円	【No.047】栄養教諭による食育事業を実施します。 (20 千円)	54
				【No.049】安全な給食提供のため、備品・食器などの計画的な更新を行います。 (23,419 千円)	55

(2) 国民健康保険特別会計【会計番号 02】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 総務費	03. 徴税费	01. 賦課徴収費	129 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。 (129 千円)	144
05. 保健事業費	01. 特定健康診査等事業費	01. 特定健康診査等事業費	14,323 千円	【No.080】脳血管疾患、循環器疾患、糖尿病などの予防を推進します。 (14,323 千円)	78
	02. 保健事業費	01. 趣旨普及費	4,938 千円	【No.079】がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。 (4,938 千円)	77

(3) 北海道介護福祉学校特別会計【会計番号 06】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 教育費	01. 介護福祉学校費	01. 介護福祉学校費	118,291 千円	【No.051】優秀な介護福祉士を毎年 80 名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。 (118,022 千円)	56

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 教育費	01. 介護福祉学校費	01. 介護福祉学校費	118,291千円	【No.052】介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。(269千円)	57
02. 公債費	01. 公債費	01. 元金	1,215千円	【No.051】優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。(1,215千円)	56
		02. 利子	37千円	【No.051】優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。(37千円)	56

(4) 介護保険特別会計【会計番号 07】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 総務費	02. 徴収費	01. 賦課徴収費	37千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(37千円)	144
03. 地域支援事業費	01. 介護予防・生活支援サービス事業費	01. 介護予防・生活支援サービス事業費	42,801千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(42,801千円)	92
		02. 一般介護予防事業費	8,852千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(8,852千円)	91
	03. 包括的支援事業・任意事業費	05. 任意事業費	4,260千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(59千円)	91
				【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(4,201千円)	92

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
03. 地域支援事業費	03. 包括的支援事業・任意事業費	06. 在宅医療・介護連携推進事業費	200 千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(200 千円)	92
		07. 生活支援体制整備事業費	5,066 千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(5,066 千円)	92
		08. 認知症総合支援事業費	995 千円	【No.101】高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。(995 千円)	91
		09. 地域ケア会議推進事業	102 千円	【No.102】生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。(102 千円)	92

(5) 後期高齢者医療特別会計【会計番号 08】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 総務費	02. 徴収費	01. 賦課徴収費	15 千円	【No.172】町税収入等の収納率向上に努めます。(15 千円)	144

(6) 住宅団地造成事業特別会計【会計番号 09】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 住宅団地造成事業費	01. 住宅団地造成事業費	01. 住宅団地造成事業費	1,224 千円	【No.142】住宅団地の造成を検討します。(1,224 千円)	124

(7) 工業団地造成事業特別会計【会計番号 10】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 工業団地造成事業費	01. 工業団地造成事業費	01. 工業団地造成事業費	553 千円	【No.157】国道234号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。 (553 千円)	135

(8) 水道事業会計【会計番号 11】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 資本的支出	01. 建設改良費	01. 老朽管更新事業費	95,000 千円	【No.146】老朽化した水道管を計画的に更新します。 (95,000 千円)	127
		03. 浄水施設整備費	31,350 千円	【No.147】水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。(31,350 千円)	128

(9) 下水道事業会計【会計番号 12】

款	項	目	決算額	関連計画事業（決算額）	頁
01. 下水道事業資本的支出	01. 営業費用	01. 管渠費	85,085 千円	【No.148】老朽化した下水道施設を計画的に更新します。(85,085 千円)	128
03. 個別排水処理施設事業費用	01. 営業費用	01. 個別排水処理施設費	37,064 千円	【No.150】個別排水処理施設整備を推進します。 (37,064 千円)	129

計画事業別決算状況

※ 各計画の事業概要は、後期実施計画開始時点の内容のため、当該決算年度時の事業計画を表すものではありません。

※ **新規**は、後期実施計画から新たに実施する事業です。

I 生活環境

安心して暮らせるふるさとづくり

(1) ごみ処理

計画策定時の主な課題

- ◆平成 23 年度より可燃ごみの炭化処理を実施してきましたが、炭化施設の廃止に伴い、最終処分場の新たな延命対策と、さらなる埋め立てごみの減量対策が必要となっています。
- ◆高齢化の進展などを見すえ、広域組合への加入による共同（焼却）処理への転換など、将来の安定したごみ処理体制の構築が急務となっています。

施策① ごみの減量化・資源化の推進

- ごみの再資源化による循環型社会の形成
- 適正な分別の推進とごみの発生抑制

No.	計画事業	事業概要	担当課
1	中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。	資源ごみのリサイクル推進（資源物収集場所の増設など）、生ごみ・下水道汚泥の堆肥化（栗肥土＝クリピットとして町民に還元）、外部処理委託の推進	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	110,708千円	主な事業実績 生ごみ・下水道汚泥を原料として生産した堆肥「栗肥土」を約 22t 販売し、町民に還元したほか、再分別の徹底により硬質プラスチックや木類など再生処理可能物の外部処理委託を行ない、プラスチック・缶・ビン等の資源物の再資源化を進めました。	
決算額	107,315千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		4,916千円
	一般		102,399千円
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_04_02_02 (107,315千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
2	ごみ分別の正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを進めます。	地域・団体・事業所などを対象とした説明会・施設見学会の実施、分別啓発用パンフレットの作成、小中学生の分別学習の推進 など	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	183千円	主な事業実績	ごみの分別方法や処理状況等をより理解していただくために、ごみ処理施設見学会を2回開催、栗山小学校や北海道介護福祉学校の生徒を対象にごみ処理施設での学習会を計2回開催しました。	
決算額	105千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			105千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_02_02 (105千円)			

施策② ごみ処理体制の整備

- 埋立てごみの減容による最終処分場の延命化
- 広域処理による安定したごみ処理体制の確立

No.	計画事業	事業概要	担当課
3	老朽化したごみ処理施設・設備などの計画的な更新・修繕を行います。	堆肥化施設脱臭施設等の修繕、資源リサイクルセンター圧縮梱包器等の更新・修繕、作業用重機・ごみ収集車の更新 など	環境政策課 環境政策 G

実績

最終予算額	16,829千円	主な事業実績	老朽化が進んでいるごみ処理施設や設備等について、必要な個所を見極め、施設や設備の延命に向けた確な修繕・更新等を行いました。 【主な修繕・更新内容】 ○リサイクルセンター梱包機修理 ○堆肥化施設脱臭装置機器修繕 ○堆肥化施設屋根修繕 ○パッカー車更新 ○タイヤショベルの導入	
決算額	16,221千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			10,300千円
	その他			0千円
	一般			5,921千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_02_02 (16,221千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
4	埋立てごみの減容を推進します。	埋立てごみの破碎処理の実施(最終処分場の延命化)、外部焼却処理委託の推進	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	25,992千円	主な事業実績	炭にできるごみや炭にできないごみを回収後、再分別を行い、焼却対象物 800 t を外部処理したことで埋め立てごみが減容され、最終処分場を延命化することができました。	
決算額	25,984千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			25,335千円
	一般	649千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_02_02 (25,984千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
5	広域組合加入による共同処理により、安定したごみ処理体制を構築します。	広域組合(道央廃棄物処理組合)での焼却処理(令和6年4月施設稼働予定)に向けた施設等建設 など	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	5,911千円	主な事業実績	道央廃棄物処理組合が設置する焼却処理施設の稼働(令和6年4月稼働予定)に向けて、各事業を実施しました。 【組合の主な実績】 ○廃棄物処理施設建設に係る入札など	
決算額	5,911千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			4,300千円
	その他			0千円
	一般	1,611千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_02_02 (5,911千円)			

(2) 環境・エネルギー

計画策定時の主な課題

- ◆地球温暖化対策に関する実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定による温室効果ガスの発生抑制と、再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進が必要となっています。

施策① 地域環境美化の推進

- 全町的な環境美化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
6	町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。	年2回（春・秋）の全町一斉清掃の実施、町内会・自治会などの地域清掃活動（児童公園など）に対するボランティア袋の提供	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	476千円	主な事業実績	春と秋の年2回、町内会・自治会などの協力のもと、全町一斉清掃を実施し、地域の環境美化活動を行いました。 また、町内会・自治会などの地域清掃活動（児童公園や河川など）に対してボランティア用ごみ袋の提供を行い、地域環境美化活動の支援を行いました。	
決算額	473千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			473千円
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_04_02_01 (473千円)			

施策② 地球温暖化対策の推進

- 地球温暖化防止のための温室効果ガスの発生抑制

No.	計画事業	事業概要	担当課
7	温室効果ガス排出削減などに向けた、地球温暖化対策実行計画を策定します。	栗山町役場の対策を定める実行計画（事務事業編）と、町内全域の取り組みを定める実行計画（区域施策編）を策定	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け調査（情報収集等）を実施しました。	
決算額	円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			円
				円
				円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)			

施策③ 再生可能エネルギー活用の推進

- 再生可能エネルギー導入による環境にやさしいまちづくりの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
8	環境にやさしい循環型社会への貢献を目指す企業を支援します。	太陽光・バイオマス・雪氷冷熱などの再生可能エネルギーを導入する町内事業者を支援（導入費用の一部を助成）	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	990千円	主な事業実績	自家消費向け再生可能エネルギーシステム等の設備導入費や、システム等を導入し、新たな事業展開によって経営の拡大を図ろうとする事業者に対して、事業経費の一部を補助しました。 【補助概要】 ○対象者：町内中小企業者、農業者等 ○補助率：対象経費の1/3（限度額100万円） ○実績：1件 990千円	
決算額	990千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他	990千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_07_01_01 (990千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
9	公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。	住宅(家庭)用太陽光発電設備の導入を助成、木質バイオマス、小水力発電などの再生可能エネルギー活用に向けた調査検討	環境政策課 環境政策G

実績

最終予算額	210千円	主な事業実績 再生可能エネルギー導入を推進するために、住宅用太陽光発電システム設置費の補助を継続実施しました。 【事業概要】 ○住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件設置 210千円	
決算額	210千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		160千円
	一般		50千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_04 (210千円)		

(3) 防災

計画策定時の主な課題

- ◆各地域（町内会・自治会等）における自主防災組織設置と活動支援が必要となっています。
- ◆栗山市街（北部）地区の備蓄場所（備蓄庫）の確保が必要となっています。
 - * 南部：南部公民館、中部：旧農業集落排水処理場、北部：役場別館（建物の老朽化）
- ◆災害情報の伝達手段（各世帯）の確保が必要となっています。

施策① 地域防災活動の推進

- 地域組織を活かした災害時における協力体制の確立

No.	計画事業	事業概要	担当課
10	自主防災組織の設置により、地域防災活動を推進します。	まちづくり協議会などによる自主防災組織の設置支援（助成制度創設）・育成、防災マスター（地域リーダー）の養成 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	50千円	主な事業実績	<p>地域の防災リーダーを育成するため、北海道が行う「北海道地域防災マスター認定研修会」に4人が受講しました。</p> <p>また、自主防災組織については新たな設立はありませんでしたが、今後はモデル事業を実施して組織設立を推進していきます。</p>	
決算額	0千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_20 (0千円)			

施策② 行政危機管理体制の整備

- 災害用物資（食料・資機材・燃料等）の計画的な備蓄
- 災害時における町民への情報伝達手段の確保
- 降雨・降雪など気象状況の的確な把握

No.	計画事業	事業概要	担当課
11	災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。	備蓄計画に基づく食料・資機材（毛布・ストープ・投光器など）の確保、家庭備蓄の啓発など	総務課 広報・防災 情報G

実績

最終予算額	5,233千円	主な事業実績 備蓄食料として、アルファ化米900食、飲料水2,700本、クラッカー900パック、粉ミルク80箱の更新を行いました。 北海道胆振東部地震の際に照明機材が不足していたことから、投光器を6台購入しました。	
決算額	5,170千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		500千円
	町債		0千円
	その他		4,655千円
一般	15千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_20 (5,170千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
12	災害時の電源・燃料確保を推進します。	主要避難所に非常用電源設備を整備、電源及び暖房機器などの燃料確保に向けた供給業者との災害時協定の締結 など	総務課 広報・防災 情報G

実績

最終予算額	29,700千円	主な事業実績 指定避難所である総合福祉センターに、非常用電源設備を整備しました。	
決算額	29,700千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		29,700千円
	その他		0千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_20 (29,700千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
13	災害時の情報伝達手段を充実します。	デジタル移動系無線の整備、総合行政ネットワーク衛星無線回線の更新 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	692千円	主な事業実績	災害時における災害情報の住民周知及び職員、関係機関との連絡体制を確保するため、スピーカー付災害用車両1台、衛星電話1台、安否確認・一斉通報システム等を継続運用しました。	
決算額	662千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			500千円
一般	162千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_20 (662千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
14	防災情報システム（気象観測等）の導入を検討します。	早期の避難情報提供（降雨や降雪状況の把握）に向けた仕組みの検討	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	札幌管区气象台や近隣自治体などから、気象観測装置の設置状況や気象観測方法の聞き取りなどを行いました。	
決算額	0千円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			
				0千円
				0千円
				0千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)			

施策③ 防災意識の啓発

- 町民の防災意識の高揚

No.	計画事業	事業概要	担当課
15	防災訓練の実施と、町民の防災知識の啓発を推進します。	町民・関係機関と連携した総合防災訓練の実施（年1回）、町職員防災訓練の実施（年1回）、町広報などでの防災知識の啓発	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	81千円	主な事業実績 大雨による土砂災害、河川氾濫を想定した総合防災訓練を実施しました。 【主な実施内容】 ○対象地域 朝日・湯地中央地域まちづくり協議会 ○参加者数 269人 ○実施場所 朝日ふれあい公園 地域住民への防災意識を高めるため、町広報に洪水や台風、地震等の防災記事を掲載しました。 栗山小学校で「くりっ子防災教室兼1日防災学校」を行いました。	
決算額	36千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	36千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_20 (36千円)		

(4) 消防・救急

計画策定時の主な課題

- ◆平成11年に導入した消防通信指令装置の経年劣化が進み、更新が必要となっています。
*通報受理・出動命令・消防団招集等の迅速化、増加する携帯電話からの通報時の位置特定を強化
- ◆サイレン吹鳴装置の更新（デジタル化）が必要となっています。
*現在のアナログ無線設備の使用期限が平成28年5月31日までとなっている。
- ◆引き続き、消防施設・車両等の計画的な改修・更新が必要となっています。

施策① 消防・救急体制の確保

- 消防車両の計画的な更新による消防・救急体制の確保
- AED（自動体外式除細動器）の普及・利活用による救命率の向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
16	消防車両などを計画的に更新します。	消防署救助工作車、職員防火衣などの更新	消防署

実績

最終予算額	78,711千円	主な事業実績 住民の安全・安心の確保、災害対応体制の強化を図るため、救助工作車及び職員用防火衣（29着）を更新しました。	
決算額	78,711千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		75,800千円
	その他		2,900千円
	一般		11千円
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_09_01_01 (78,711千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
17	消防通信指令装置を更新します。	※前期で終了（事業完了）	消防署

実績

最終予算額	0千円		
決算 (財源内訳)	0千円		本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目（決算額）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
18	AEDの活用など救急救命講習を実施します。	救急救命講習の実施、AEDの設置拡大に向けた啓発活動 など	消防署

実績

最終予算額	0千円		救急救命講習を25回実施し、520人が受講しました。
決算 (財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。	円 円 円 円 円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目（決算額）		

施策② 消防施設の整備

- 消防施設の計画的な更新による消防・救急体制の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
19	老朽化した消防施設を計画的に改修・整備します。	消防待機宿舎の改修 など	消防署

実績

最終予算額	4,653千円	主な事業実績	災害時における町民への災害情報周知や広報活動のため、消防署屋外拡声放送設備を更新しました。	
決算額	4,568千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			4,500千円
	その他			0千円
	一般	68千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_09_01_01 (4,568千円)			

施策③ 消防団の充実・強化

- 消防団活動の充実・強化による火災・災害時等の被害軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
20	消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。	分団小型動力ポンプ自動車の更新、各分団庁舎の改修・補修、団員防火衣の更新 など	消防署

実績

最終予算額	2,053千円	主な事業実績	消火活動時の安全確保のため、消防団員用防火衣(122着)を更新しました。 女性消防団員による応急手当の普及や防火活動を実施しました。	
決算額	2,053千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			2,000千円
	一般	53千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_09_01_01 (2,053千円)			

(5) 生活安全

計画策定時の主な課題

- ◆関係団体との連携による、継続的な交通安全運動・教育の推進が必要となっています。
- ◆広域化・悪質化する犯罪（振り込め・還付金詐欺など）に対し、家庭・地域・学校・関係団体との連携を強め、地域ぐるみの防犯活動が必要となっています。
- ◆消費者協会と連携を図りながら、継続的な消費者保護・相談事業の推進が必要となっています。 *消費者協会会員の高齢化の現状もあり会員増に向けた取り組みも必要。

施策① 交通安全対策の推進

- 町民一人ひとりの交通安全意識の高揚
- 危険箇所への警戒標識設置等による交通事故抑止

No.	計画事業	事業概要	担当課
21	交通安全運動・教育を推進します。	各種団体の協力による交通安全運動・キャンペーンの実施、幼児・児童生徒などの交通安全教育の推進 など	環境政策課 生活安全G

実績

最終予算額	1,630千円	主な事業実績 交通安全に対する町民一人ひとりの意識を高め、交通事故抑止を図るため、栗山町交通安全協会をはじめ関係機関・団体とともに、交通安全運動・教育啓発活動を実施しました。 【主な内容】 ○新入学児童交通安全街頭指導等啓発グッズ配布 ○交通安全教室・講習会：15回・906人 ○各期交通安全運動街頭啓発：22回・556人	
決算額	1,630千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般		1,630千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_09 (1,630千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
22	交通安全施設の整備を進めます。	町道への道路警戒標識などの設置	環境政策課 生活安全G

実績

最終予算額	3,000千円	主な事業実績 交通事故抑止のため、町道への道路警戒標識等の整備を行いました。 【主な内容】 ○路側標識板：4基 ○警戒標識：9基 ○区画線：一式	
決算額	3,000千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	3,000千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_10 (3,000千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
195	新規 高齢運転免許証保有者の免許証自主返納を支援します。	高齢運転者の免許証自主返納に対し、ハイヤー利用料金または町営バス回数券などを助成	環境政策課 生活安全G

実績

最終予算額	1,286千円	主な事業実績 高齢者の運転免許証返納を支援するため、ハイヤー利用料金または町営バスの回数券、運転経歴証明証交付手数料を助成しました。 【主な内容】 ○ハイヤー利用料金のみ：74人 ○町営バス回数券のみ：7人 ○ハイヤー+町営バス：13人 ○運転経歴証明書交付手数料助成：41人	
決算額	899千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	899千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_09 (899千円)		

施策② 地域防犯活動の推進

- 犯罪の無い安全な地域社会の形成

No.	計画事業	事業概要	担当課
23	地域の防犯・安全運動を推進します。	栗山地区防犯協会による地域安全運動、地域安全講習会、子ども110番の家事業の支援、防犯カメラの設置 など	環境政策課 生活安全G

実績

最終予算額	401千円	主な事業実績 犯罪のない明るく安心・安全な地域社会を構築するため、栗山地区防犯協会をはじめ関係機関や地域と連携し、地域の防犯・安全活動を実施しました。 【主な内容】 ○新入学児童防犯ブザー配布 ○防犯パトロール：3回・34人 ○スポーツ少年団助成：1団体 ○防犯講習会：5回・134人 ○街頭啓発：3回・41人	
決算額	401千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	401千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_03_01_01 (401千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
24	防犯灯（街路灯）の適切な配置を推進します。	町内会等による防犯灯（街路灯）設置・修理費用の助成、電気料の助成、LED化の推進	環境政策課 生活安全G

実績

最終予算額	5,600千円	主な事業実績 夜間における犯罪・事故防止、歩行者の安全等、安心・安全な地域社会構築を図るため、地域団体へ街路灯設置・修理及び電気料金を助成しました。 【主な内容】 ○街路灯設置・修理助成：17団体・35灯 (内LED化分：17団体・35灯) ○電気料金助成：79団体・1,750灯	
決算額	4,854千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		4,000千円
	その他		600千円
一般	254千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_03_01_01 (4,854千円)		

施策③ 消費者保護の推進

- 知識啓発及び相談体制の充実等による消費生活の保護

No.	計画事業	事業概要	担当課
25	消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。	「消費者まつり」や啓発事業などを行う栗山消費者協会の活動を支援(助成)、消費生活相談員による相談窓口の開設 など	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	1,298千円	主な事業実績	栗山消費者協会が行う消費生活についての意識啓発や消費者まつり等の活動に対して助成したほか、消費生活相談員による南空知消費生活相談窓口の運営を委託し、78件の相談を受けました。	
決算額	1,297千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			98千円
	町債			0千円
	その他			1,111千円
一般	88千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_01 (1,297千円)			

Ⅱ 教育

人々が輝くふるさとづくり

(1) 学校教育

計画策定時の主な課題

- ◆ 地域総ぐるみによる学校教育の創造と、地域の特性を生かした「ふるさと教育」のさらなる推進が必要となっています。
- ◆ ICT利活用や英語教育など、社会変化に対応した特色ある教育活動の推進が必要となっています。
- ◆ 教育機会の均等を保障する就学援助制度の継続が必要となっています。
- ◆ 各小中学校施設の計画的な改修(栗山中体育館の大規模改修等)が必要となっています。
- ◆ アレルギー対応等を含めた、衛生管理基準に適合する学校給食センターの建替えの検討が必要となっています。
- ◆ 少子化や介護職離れ等により介護福祉学校への入学希望生徒が年々減少しており、事業所と連携した修学資金制度運用など、学生確保に向けた対策が必要となっています。

施策① 確かな学力の育成と特別支援教育の充実

- ICT利活用や英語教育の充実などによる特色ある学校教育の推進
- 指導体制の充実による児童生徒の基礎学力の定着・向上
- 学習や学校生活に困難さを抱える児童生徒への支援
- 教職員の指導力発揮に向けた環境整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
26	学校教育におけるICTの利活用を推進します。	常設型ICT環境(タブレット端末の更新など)を整備、デジタル教材の導入、利活用の支援 など	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	6,123千円	主な事業実績 子ども達にとって「楽しくわかりやすい授業」を目指して、タブレット端末、電子黒板等のICT機器を活用した授業を実施しました。また、全小中学校のパソコン教室のパソコン及びセキュリティサーバ等を更新しました。	
決算額	6,122千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		3,801千円
	一般	2,321千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (6,122千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
27	小中学校の英語教育の質的向上、充実を図ります。	小学生専属の英語指導助手配置による英語教育の充実	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	6,068千円	主な事業実績	外国人英語指導助手2人のうち1人はJETプログラムで任用し、もう1人は民間派遣会社から派遣にて対応しました。両者ともに日本語力の高いALTが任用(派遣)されており、中学校のみではなく小学校でも積極的に活動しました。	
決算額	5,923千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			4,200千円
	その他			300千円
一般	1,423千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (5,923千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
28	児童生徒の学力向上に向けた指導機能の充実を図ります。	教育委員会事務局に学校教育活動の指導・助言を行う専門職員(1名)を配置、授業力向上に向けた教職員研修機会の充実	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	児童生徒の学力向上や教員の授業力向上等を図るため、学校教育の専門知識を持つ指導主事1人を配置し、各学校の学校経営・教育課程編成等に指導助言を行いました。また、令和2年度実施の新学習指導要領への体制を整備しました。	
決算	円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。			円
				円
				円
				円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
29	各学年において「全国標準学力検査」を実施します。	小学2～6年生・中学校全学年で全校標準学力検査を実施	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	1,133千円	主な事業実績	学力定着の状況を把握し、授業改善や家庭における生活習慣の改善に繋がる教育指導の充実を図るため、小学校2年生から中学校3年生までを対象とした、全国標準学力検査を実施しました。	
決算額	1,045千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	1,045千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (1,045千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
30	特別支援教育を推進します。	特別支援教育支援員（学習支援員）の配置（各学校の実情に合わせて配置）	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	16,513千円	主な事業実績	学習や生活に困難さを抱える児童生徒を支援するため、特別支援教育支援員を10人（前年比1人増）、臨時看護師を1人配置し、一人ひとりに寄り添った支援を行いました。 また、特別支援教育推進協議会において、支援員や学校関係者を対象とした研修会を開催し、質の向上及び幼児期からの連携を目指した取り組みを実施しました。	
決算額	15,983千円			
(財源内訳)	国庫			679千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			3,000千円
	一般	12,304千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (15,983千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
31	教職員による学校事務（校務）の負担軽減を図ります。	臨時職員配置による学校事務などの補助、校務支援システム（出欠・成績管理、指導要録など）の利活用による校務の情報化、システム機器の更新	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	11,099千円	主な事業実績	教職員の校務負担軽減を図り、子どもたちと向き合える時間を確保できるよう、北海道公立学校校務支援システムの利活用を促進し、また学校事務補助職員を3人配置しました。	
決算額	10,958千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	10,958千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (10,958千円)			

施策② 豊かな心と健やかな身体の育成

- いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期発見・解決
- 児童生徒による読書活動の充実
- 児童生徒の豊かな心と健やかな身体の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
32	小学生のフッ化物洗口を推進します。	各小学校週1回、希望する家庭の児童に低濃度フッ素でのうがいを実施	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	79千円	主な事業実績	子どもたちの虫歯予防として、歯磨き習慣定着に向けた指導やフッ化物洗口を実施しました。フッ化物洗口は希望者のみ対象とし、学校で歯科医の指導の下、各学校約30回のフッ化物洗口を実施しました。	
決算額	78千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	78千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (78千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
33	いじめや不登校などの問題行動の未然防止と早期解決を図ります。	教育相談員の配置（1名）、児童福祉と連携した虐待防止、中学校でのスクールカウンセラー活用（月1回北海道から派遣）	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	192千円	主な事業実績	Hyper-QUテストによりいじめや不登校児童生徒の実態把握を行いました。 また、教育相談員1人を配置し、不登校における保護者及び児童生徒の心情に寄り添う教育相談を行い、学校及び福祉課と連携して支援しました。 併せて、北海道教育委員会のスクールカウンセラー活用事業により、栗山中学校にスクールカウンセラーを1人配置しました。	
決算額	187千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	187千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (187千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
34	学校の読書環境（図書室）の充実を図ります。	栗山町図書館（指定管理者：NPO法人くりやま）との連携強化による学校図書の充実・活用の推進	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	豊かな感性を育む読書活動を推進するため、学校図書室を専門に担当する図書館司書を配置し、学校図書の整備や先生との連携を強化しました。	
決算	円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			
				円
				円
				円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
35	「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。	児童生徒のスポーツ・文化活動の支援（全道大会以上への参加時に対象経費の一部を助成）、中学生の芸術鑑賞機会の充実	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	1,363千円	主な事業実績 保護者の経済的負担を軽減し、子どもたちの活躍の場を広げるため、全国大会等への参加経費の一部及び地域で実施した子どもたちへの事業に対し助成しました。 【主な助成種目】 チアダンス、バドミントン、野球、サッカー、かるた（百人一首）、柔道	
決算額	961千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		919千円
	一般	42千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (961千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
36	「輝け！栗っ子」児童生徒表彰を行い、子どもたちの意欲を育みます。	努力賞(学校・社会生活での努力)・奉仕賞(社会や個人への奉仕活動)・親切賞(親切な行い)・体育賞・学芸賞の各表彰を実施	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	109千円	主な事業実績 各学校からの受賞対象者の推薦に基づき、児童生徒の優れた活動等に対し表彰を行いました。 【表彰者数】 ○体育賞：21人 ○学芸賞：8人 ○努力賞：2人 ○奉仕賞：9人	
決算額	70千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	70千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (70千円)		

施策③ ふるさと総がかりによる教育の推進

- 子どもの豊かな育ちを支える地域総ぐるみ教育の実現
- 地域を題材にした学校での「ふるさと教育」の推進
- 各家庭における経済的負担の軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
37	コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。	各小中学校に学校運営協議会を設置し、地域住民・関係者の声を学校経営に反映させた地域とともにある学校づくりの推進	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	1,566千円	主な事業実績 地域とともにある学校・開かれた学校を目指し、全小中学校にて学校運営協議会を実施し、学校関係者評価や土曜授業実施に向けた協議を行いました。 また、学校と保護者、地域とのつながりを大切にしました土曜授業を全小中学校で実施しました。	
決算額	1,144千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	1,144千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (1,144千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
38	児童生徒の登下校時の安全・安心を確保します。	通学路の定期点検（危険箇所把握）と校区安全マップの作成	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	28千円	主な事業実績 関係者により通学路合同点検を実施し、危険箇所の確認を行ったのち、側溝の修理などの対策を実施しました。 また、児童生徒に対して、校区安全マップを配布しました。	
決算額	28千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	28千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (28千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
39	ふるさと教育を推進するため、栗山らしい副読本を作成します。	社会科副読本の作成と利活用（小学校3年生に配布）	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	774千円	主な事業実績	ふるさと栗山に対する誇りと愛情を育てる教育を推進するため、学習指導要領に基づいた社会科副読本を平成27年度に作成しており、令和元年度においては増刷し、小学校3年生に配布しました。	
決算額	774千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	774千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (774千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
40	各家庭の経済的負担（教育費）の軽減を図ります。	要保護・準要保護児童生徒の就学援助（医療費・学用品費など）、幼稚園への通園を希望する保護者の負担軽減 など	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	17,638千円	主な事業実績	児童生徒の教育活動に係る費用の一部を軽減するため、教材費や学校行事経費、中学生部活動費等に対する学校交付金を交付したほか、低所得家庭に対しては、就学に係る費用（学用品費・体育実技用品、修学旅行費）助成である児童生徒就学援助費を支給しました。 また、幼稚園に通園する保護者に対し、入園料及び保育料に対する補助を行いました。	
決算額	15,653千円			
(財源内訳)	国庫			162千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	15,491千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (10,857千円) 01_10_02_02 (2,014千円) 01_10_03_02 (2,782千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
196	新規 地域と連携した「キャリア教育」を推進します。	地域、企業、介護福祉学校などと連携した小・中学校、高等学校におけるキャリア教育の推進	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	39千円	主な事業実績	全児童生徒に対し、目標をたて、成長を記録し、振り返るためのキャリアノートを配布しました。 また、町内の企業、栗山高校、介護福祉学校、小中学校が連携し、栗山町キャリア教育体験発表会を開催しました。	
決算額	37千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	37千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (37千円)			

施策④ 学校施設・設備などの整備

- 学校施設の適切な維持、改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
41	栗山中学校校舎の計画的な改修を行います。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	本年度は大きな改修を行っていませんが、老朽化が進んでいる学校施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。	
決算	円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。			円
				円
				円
				円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
42	栗山中学校体育館の計画的な改修を行います。	非構造部材の耐震化、長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	22,524千円	主な事業実績 体育館の非構造部材の耐震化や照明器具のLED化に係る改修工事を行いました。 また、老朽化が進んでいる学校施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。	
決算額	22,524千円		
(財源内訳)	国庫		7,583千円
	道費		0千円
	町債		14,900千円
	その他		0千円
	一般	41千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_03_01 (22,524千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
43	栗山小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	44,255千円	主な事業実績 受水槽の老朽化に伴う改修工事を行いました。 老朽化が進んでいる学校施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。また、令和2年度に実施する温風暖房機改修の国庫補助金の内示を受けました。 ※予算残の40,907千円は、令和2年度予算へ全額繰り越しました。	
決算額	3,348千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	3,348千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_02_01 (3,348千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
44	角田小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備、暖房設備改修	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	15,606千円	主な事業実績	<p>温風暖房機の改修工事を行いました。</p> <p>また、老朽化が進んでいる学校施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。</p>	
決算額	15,606千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			15,600千円
	その他			0千円
	一般			6千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_02_01 (15,606千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
45	継立小学校校舎・体育館の計画的な改修を行います。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	22,936千円	主な事業実績	<p>老朽化が進んでいる学校施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。また、令和2年度に実施する温風暖房機改修の国庫補助金の内示を受けました。</p> <p>※予算残の22,936千円は、令和2年度予算へ全額繰り越しました。</p>	
決算額	0千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			0千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_02_01 (0千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
46	教職員住宅（校長・教頭）を改修します。	※前期で終了（事業完了）	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円		
決算 (財源内訳)	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額）		

施策⑤ 安全・安心な学校給食の提供

- 食生活への正しい理解と食習慣の形成
- 学校給食における地産地消の推進
- 安心・安全な学校給食の提供に向けた環境整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
47	栄養教諭による食育事業を実施します。	学校行事などでの食育講話・料理教室の実施、児童生徒の発達に合った食育指導の実施	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	30千円	主な事業実績 栄養教諭が給食時に小中学校を訪問し、食育の授業を行うとともに、給食時における準備や後片付けの指導を行いました。「栄養素の役割について」、「清涼飲料水の糖分について」及び「地産地消について」などの授業を実施しました。 また、栗山4Hクラブと共催により、栗山小学校と角田小学校は6年生、継立小学校は全児童を対象に手打ちうどんづくりを実施しました。	
決算額	20千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	20千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額） 01_10_05_05 (20千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
48	地元・道内産の食材活用を推進します。	米・野菜・小麦粉など、地元産を活用した給食提供を推進	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 町内産食材を可能な限り活用し、町内産で揃えられない食材については、道産、国産の食材を積極的に活用するとともに、給食だよりにて使用食材の情報を積極的に発信しました。 また、初めての取り組みとして「栗山産ふるさと給食（栗山町産食材のみを使った学校給食）」を実施し、児童生徒及び関係者の地産地消に対する理解を深めました。
決算額	円	
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。	
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)	
会計別決算額		

No.	計画事業	事業概要	担当課
49	安全な給食提供のため、備品・食器などの計画的な更新を行います。	計画的な備品・食器などの更新（消毒保管庫、真空冷却器、カートイン消毒保管庫、スチームコンベクションなど）	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	23,676千円	主な事業実績 安全な給食を提供するために、消毒保管庫の導入のほか、食器や厨房備品を更新しました。
決算額	23,419千円	
(財源内訳)	国庫 0千円 道費 0千円 町債 21,300千円 その他 0千円 一般 2,119千円	
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)	
会計別決算額	01_10_05_05 (23,419千円)	

No.	計画事業	事業概要	担当課
50	学校給食センターの長寿命化を図ります。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	学校教育課 学校教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	給食センターは建設から29年が経過し、設備の老朽化が進んでいます。施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。
決算額	0千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)		

施策⑥ 北海道介護福祉学校の運営

- 高齢化社会を支える人材の育成
- 学校施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
51	優秀な介護福祉士を毎年80名輩出し、これからの高齢化社会を支える人材を創出します。	2年制専修学校として介護福祉士を養成、学生確保対策（介護人材確保のネットワーク構築など）、地域と連携した福祉教育の推進 など	介護福祉学校 事務局

実績

最終予算額	121,406千円	主な事業実績	平成31年4月入学者が20人（前年比▲16人）と募集定員を下回ったことから、近年の社会情勢を踏まえつつ、学校運営における町財政への影響を減らしていくため、1学年80人の定数を令和3年度入学生から40人とするを柱とした学校経営改善計画を策定し、関係条例等の改正を実施しました。 上記に加え、高校訪問・オープンキャンパス等の学生募集事業に取り組みましたが、令和2年4月の入学者は18人（前年比▲2人）となりました。 令和2年3月卒業生は33人で、うち32人が就職し、1人が進学（大学編入）しました。29期生（平成30年3月卒業）から養成校でも義務化となった介護福祉士国家試験の合格率は93.9%でした。（全国平均69.9%、養成校平均は80.0%）										
決算額	119,274千円												
(財源内訳)	<table border="1"> <tr><td>国庫</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>道費</td><td>7,219千円</td></tr> <tr><td>町債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>32,990千円</td></tr> <tr><td>一般</td><td>79,065千円</td></tr> </table>			国庫	0千円	道費	7,219千円	町債	0千円	その他	32,990千円	一般	79,065千円
国庫	0千円												
道費	7,219千円												
町債	0千円												
その他	32,990千円												
一般	79,065千円												
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 06_01_01_01 (118,022千円) 06_02_01_01 (1,215千円) 06_02_01_02 (37千円)												

No.	計画事業	事業概要	担当課
52	介護福祉学校・学生寮の計画的な改修を行います。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	介護福祉学校事務局

実績

最終予算額	280千円	主な事業実績	<p>校舎は、暖房配管、自動ドア等不良箇所修繕を実施、学生寮は、厨房蛇口取替、暖房配管、居室クロス等不良箇所修繕を実施しました。</p> <p>学校経営改善計画策定にあたり、平成30年度に実施した公共施設長寿命化対策基礎調査を踏まえ、今後の大規模修繕を見込んだ中期財政推計と個別施設計画策定に向けた現状の不具合箇所の目視点検を実施しました。</p>	
決算額	269千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			269千円
	一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 06_01_01_01 (269千円)			

施策⑦ 栗山高校の魅力づくり

- 就業機会の拡大や生徒の資質向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
197	新規 栗山高校の魅力づくりを進めます。	学生確保(学校の魅力づくり)を目的とした各種支援策の実施	学校教育課 学校経営改善室

実績

最終予算額	2,582千円	主な事業実績	<p>栗山高校生徒の資質向上等を目的に、これまでの各種資格取得受験料助成制度に加え、今年度新たに部活動対外派遣費や各種模擬試験受験料の助成、青少年海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」の栗山高校生徒枠の創設など、より魅力ある学校づくりのための支援策を拡充しました。</p> <p>また、生徒募集の観点から南空知管内近隣中学校生徒に対し、各種支援補助金に係るPRとともに学校PR媒体を配付するなど、積極的な営業活動を実施しました。</p> <p>【支援補助金の活用実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部活動対外派遣費補助：7件 297千円 ○学習支援ソフト使用料補助：132件 515千円 ○進学模擬試験受験料補助：31件 49千円 ○資格取得受験料補助：139件 182千円 ○海外研修補助：2件 796千円 	
決算額	1,864千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			395千円
	その他			1,421千円
	一般	48千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_01_04 (1,864千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
198	新規 栗山高校の未来像を話し合う町民委員会を設置します。	栗山高校の今後のあり方（魅力ある学校づくりや生徒確保対策）など、町民委員会で検討	学校教育課 学校経営改善室

実績

最終予算額	180千円	主な事業実績	<p>関係機関・団体からの推薦、公募、町長選任委員の計 20 人により設置した「栗山高等学校の魅力づくり委員会」では3回の会議を開催し、栗山高校を取り巻く環境や道立高校の出願状況、公立高等学校配置計画について情報共有と現状把握に努めました。</p> <p>令和元年度からアドバイザーを招聘し、全国・道内の特色ある取組に関する講話や、本町の地域特性（魅力）を活かした高校づくりに関する提言をいただくとともに、栗山中学校生徒と保護者を対象にアンケート調査を実施し、ニーズの分析と求められる高校の在り方に関する調査・研究を行いました。</p>	
決算額	124千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	124千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_01_04 (124千円)			

(2) 生涯教育

計画策定時の主な課題

- ◆ 青少年育成事業に参加できる子どもが限られており、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 高齢者大学の受講生の固定化・高齢化が進んでおり、新たな展開が必要となっています。
- ◆ 図書館と教職員との連携強化により、図書館システムを活用した学校での読書活動の充実に向けた取り組みが必要となっています。
- ◆ 町民に親しまれる生涯学習情報の発信（マナビィの発行等）が必要となっています。
- ◆ 老朽化が進む社会教育施設の計画的な改修が必要となっています。

施策① 幼児・家庭教育の推進

- 家庭の教育力向上とより良い家庭環境づくりの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
54	家庭教育の機能を高める啓発・支援を行います。	子どもの望ましい生活習慣確立のための啓発活動、家庭教育サポート企業との連携推進など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 家庭教育サポート企業に対し、栗山町内で行っている子ども達への教育について知っていただき、地域企業として子どもたちに何が出来るかを考えていただくために、ふるさと教育交流会への参加を呼び掛け、9人が参加をしました。	
決算	千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・		千円
	執行はありません。		千円
			千円
(参考)	会計_款_項目 (決算額)		
会計別決算額			

施策② 青少年教育の推進

- 人間性豊かな青少年の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
55	自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。	くりやまキッズクラブ（青少年体験学校）の実施	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	134千円	主な事業実績 「ふるさとの価値にふれる（ふるさと学習）」 「たくましく挑み続ける実践力を育む」「地域には無い外の価値に触れ・視野を広める」「一年間を通して食と環境について学びを深める」を目的として町内の小学4年生～中学3年生を対象とした、くりやまキッズクラブを実施しました。 【主な実施内容】 ○キッズ農園 田植え・イモ植え体験（21人参加） ○酪農学園大学キャンパス訪問（21人参加） ○親子で体験！サカナ釣り（18人・親14人参加） ○農園収穫祭・きのこ収穫体験（15人参加） ○脱穀体験（16人参加） ○もちつきの集い・昔遊び体験（18人親5人参加） ○オオムラサキ館で昆虫標本づくり（20人参加）	
決算額	80千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	80千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_02 (80千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
56	青少年育成会活動を支援します。	栗山町青少年育成会事業の支援（子ども会リーダー研修、かるた大会、各地区・単位育成会の活動支援など）	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	887千円	主な事業実績 青少年の健全育成と明るく豊かな地域社会を構築するため、青少年育成会活動を支援しました。 【青少年育成会の主な活動】 ○リーダー研修会（初級2回73人、中級3回45人、上級2回19人） ※新型コロナウイルスの影響で第3回目の初級・上級リーダー研修会が中止 ○かるた大会への出場 栗山大会小学生5チーム 中学生2チーム 上位チーム空知大会と全道大会に出場 全道（小学生：ベスト8、中学生：4位（敢闘賞）、ベスト16） ○各地区・単位育成会への支援 栗山130千円 角田130千円 継立90千円 雨煙別60千円	
決算額	870千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	870千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_01 (870千円)		

施策③ 成人・高齢者教育の推進

- 町民への多様な学習機会の提供と地域活動の担い手育成
- 高齢者による学びの機会と生きがいづくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
57	町民の多様な学びの機会づくりを行います。	町民講座など町民の学習機会の提供、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	203千円	主な事業実績 多様な学習ニーズに対応した講座を開催したほか、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行によって学習機会等を周知、報告しました。 【主な実績】 ○学習機会の提供：町民講座（7講座：延べ200人） ○学習機会等の情報発信：生涯学習情報誌「マナビィ」の発行（年12回）	
決算額	202千円		
（財源内訳）	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		25千円
一般	177千円		
（参考） 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額） 01_10_04_02（202千円）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
58	高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会を提供します。	高齢者大学「いきいきスクール」「いきいき塾」の実施、定年世代向け（概ね55歳以上）町民講座の開催 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	290千円	主な事業実績 高齢者大学「いきいきスクール」を実施しました。 【主な実施内容】 ○開校式・講演会：75人 ○防災教育（消防署を知ろう）：54人 ○バス研修（アイヌ文化を学ぶ）：61人 ○学校祭・講演会：63人 ○秋のバス研修（オリンピックミュージアム他）：58人 ○講演会・閉講式：101人 ○その他：大正琴や書道などのクラブ活動、記念誌発行など	
決算額	224千円		
（財源内訳）	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	224千円		
（参考） 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額） 01_10_04_02（224千円）		

施策④ 図書館活動の推進

- 町民の心豊かで文化的な暮らしを支える読書活動の普及

No.	計画事業	事業概要	担当課
59	町民の読書活動を支援します。	学校図書室との連携を推進、子育てブックスタート事業の実施、栗山ふるさと文庫事業の実施 など *指定管理者委託事業	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	49,905千円	主な事業実績 ミニくりプロジェクトの実施や、学校図書室を専門に担当する図書館司書の配置によって教員と連携を図り、調べ学習や授業支援など、学習に役立つ読書環境を整備しました。 また、読書活動の推進に向けた読書環境整備のため図書館システムを更新しました。	
決算額	49,869千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		1,000千円
	一般		48,869千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_04 (49,869千円)		

施策⑤ 社会教育施設の整備

- 社会教育施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
60	老朽化した社会教育施設の改修などを計画的に行います。	合宿センター・武道場解体、長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備、図書館屋上防水改修、開拓記念館屋上防水改修	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	2,762千円	主な事業実績 老朽化した社会教育施設の修繕等を行い、計画的保全のため個別施設計画の策定に着手しました。 【主な修繕等内容】 ○南部公民館 屋外消火設備水中ポンプ交換、消防設備修繕 ○図書館 角田・継立分室書架耐震化 ○農村環境改善センター ボイラー循環ポンプ交換、消防設備修繕 ○カルチャープラザ エレベーター機能維持装置交換、事務所音響設備、消防設備修繕等	
決算額	2,594千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		97千円
	一般		2,497千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_03 (933千円) 01_10_04_06 (391千円) 01_10_04_09 (1,270千円)		

施策⑥ ふるさと教育の推進

- 学校・家庭・地域が一体となった「ふるさと教育」の推進
- 町民のふるさとへの愛着・誇り、地域や人と関わり合う力の醸成

No.	計画事業	事業概要	担当課
61	地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進します。	地域教育協議会事業（ふるさと教育交流会など）の実施、学校支援活動の実施、普及啓発活動 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	306千円	主な事業実績	<p>主にふるさと教育交流会開催に向けて地域教育協議会を5回開催し、「ふるさとは栗山です」を合言葉に栗山町の教育を考え理解を深める場としてふるさと教育交流会を実施しました。</p> <p>【ふるさと教育交流会の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土曜授業の取り組みの実践発表 ○意見交換会 	
決算額	306千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			78千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			228千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_01 (306千円)			

(3) 自然環境教育

計画策定時の主な課題

- ◆ハサンベツ里山計画実行委員会など関係団体の高齢化が進み、新たな担い手づくりが課題となっています。また、オオムラサキの森づくり、ハサンベツ里山づくりなどの継続性の確保が必要となっています。
*子どもの体験教育を継続するためには、自然環境の維持・保全が必要
- ◆今後の自然教育の方向性や取り組みをまとめた、中長期計画の策定が必要となっています。

施策① 自然環境の保全・再生

- 身近な自然・里山環境の保全・再生と教育環境づくり
- 保全・再生運動に対する町民意識の向上と担い手づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
62	国蝶オオムラサキの生息環境を保全・再生し、生態を公開します。	オオムラサキ育成・公開（観察飼育舎）、オオムラサキ生息環境の保全・再生、自然繁殖の推進、オオムラサキ館の管理運営 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	17,970千円	主な事業実績 オオムラサキ館でオオムラサキの飼育・公開を行い、オオムラサキの生態等の学習機会を提供したほか、角田小学校・継立小学校において幼虫の観察飼育を実施しました。 また、町内に生息する昆虫や水生生物の生態等の学習機会を提供しました。 【来館者数】 ○オオムラサキ館：22,719人	
決算額	17,469千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		4,006千円
	一般		13,463千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_08 (17,469千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
63	ハサンベツ地区の里山環境を保全・再生します。	里山環境の保全・整備、里山計画実行委員会など関係団体の活動支援、新たな担い手発掘・育成支援、地区内の民有地購入の検討 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	7,729千円	主な事業実績 ハサンベツ里山計画実行委員会への活動を支援し、有志による整備作業等により、里山の自然体験フィールドを保全しました。 また、夕張川自然再生協議会への活動を支援し、夕張川支流の環境を整備しました。 【主な整備実施状況】 ○ハサンベツ里山 ・ハサンベツの日 7回（5～11月第2日曜日） ・用地の購入 ○夕張川支流 ・河川清掃、サケの稚魚放流	
決算額	7,543千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		7,543千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_08 (7,543千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
64	自然・里山環境の保全・再生に係る町の方針を宣言し、人と自然との共生を推進します。	「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」の実施、記念事業の開催、自然教育中長期計画の策定、担い手・人材確保 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	42千円	主な事業実績 「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」に向けた自然環境保全中長期計画は事務局での骨子・素案の検討に留まり、策定に至りませんでした。	
決算額	2千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	2千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_08 (2千円)		

施策② ふるさと自然体験教育の推進

- 児童生徒等の豊かな感性、たくましく成長する力などを育む自然体験教育の推進
- 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の拠点活用と適正な維持管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
65	「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用を図ります。	自然体験プログラム指導者の確保、プログラム集・指導事例集作成、町内児童生徒の体験学習支援、ボランティア養成 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	23,689千円	主な事業実績 町内の児童・生徒へのふるさと自然体験プログラムの提供、指導者の育成を行ったほか、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスの利活用のため利用者向けの自然体験プログラム集等を作成しました。 【主な実績】 ○町内児童生徒自然体験プログラム利用：3,949人 ○ふるさと自然体験プログラム集発行 ○ふるさとカレンダー発行：400部発行 ○川の指導者養成講座：1回開催	
決算額	23,414千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		3,000千円
	一般	20,414千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_04_08 (23,414千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
66	教育効果向上のため、観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合を図ります。	ファールルの森観察飼育舎の跡地整備（網舎鉄骨除去、バタフライガーデン整備、行幸啓記念碑整備） など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	7,285千円	主な事業実績 ファールルの森観察飼育舎跡地整備として、飼育舎構造物等を撤去しました。	
決算額	7,245千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		4,000千円
	その他		0千円
	一般	3,245千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_04_08 (7,245千円)		

(4) スポーツ

計画策定時の主な課題

- ◆ 総合型地域スポーツクラブと町事業との連携による、効果的な事業展開が必要となっています。
- ◆ スポーツ行事の参加者が減少傾向にあり、また、少子化に伴い、種目によっては少年団活動が縮小傾向にあるため、スポーツ団体の育成が必要となっています。
- ◆ 老朽化した体育施設の修繕が多発しており、計画的な維持・補修が必要となっています。

施策① 生涯スポーツの推進

- 年齢や技術等の段階に応じた生涯スポーツの環境づくり
- 大学等の合宿誘致による交流人口拡大と地域スポーツ団体の競技力向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
67	年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。	体育イベント(歩けあるけ運動など)・体育大会(ソフトボール・ミニバレーなど)の開催、スポーツ少年団本部の支援、総合型地域スポーツクラブへの事業委託 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	4,032千円	主な事業実績	体育イベント(歩けあるけ運動など)・体育大会(ソフトボール・ミニバレーなど)の開催、スポーツ少年団本部の支援、総合型地域スポーツクラブへの事業委託などを実施しました。 【主な実績】 ○体育イベント ・歩けあるけ運動：60人 ・ウォークラリー：78人 ・スイミングフェス：58人 ・レクリエーションの集い：65人 ○各団体への支援 ・体育協会(970千円) ・スポーツ少年団本部(554千円) ○総合型地域スポーツクラブ ・フィットネス：92人	
決算額	3,920千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	3,920千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_05_01 (3,920千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
68	スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	大学などのスポーツ合宿誘致	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 合宿や大会などの受入を積極的に行いました。 【主な受け入れ実績】 ○野球7団体 19日間 延480人 町民球場・公園球場 ○スポーツセンター（バドミントン・バレー・バスケット等）延1,500人 ○ふじスポーツ広場（サッカー）延180人
決算	0千円	
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。	
	円	
	円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)	

施策② スポーツ施設の整備

- スポーツ施設の適正な維持・改修による長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
69	老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	スポーツセンターのトレーニングルーム機器更新・バスケットゴール更新、栗夢広場のフェンス修繕、栗山水泳プールのプールサイド修繕、長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	19,502千円	主な事業実績 栗山プールのプールサイド改修、スポーツセンタートイレ洋式化、町民球場スピーカー修繕、栗山ダムパークゴルフコース改修、など8件の修繕等を実施しました。また、老朽化が進んでいる社会体育施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。	
決算額	19,436千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		8,500千円
	その他	0千円	
一般	10,936千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_05_02 (9,571千円) 01_10_05_03 (9,865千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
70	ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	※前期で終了(計画事業 69 の個別施設計画に基づく長寿命化で対応)	社会教育課 社会教育 G

実績

最終予算額	0千円		
決算 (財源内訳)	本計画事業は、前期計画期間 (H27~H30) で完了しました。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
71	栗山町スキー場の今後のあり方を検討します。	スキー場の今後のあり方の検討、検討結果を踏まえた方針の決定	社会教育課 社会教育 G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	町民説明会や関係団体との話し合い等の結果を経て、スキー場廃止を決定しました。
決算 (財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

(5) 芸術・文化

計画策定時の主な課題

- ◆文化連盟加盟団体の減少と会員の高齢化が進み、各文化祭への参加者層も高齢化・固定化傾向にあるため、現役世代の参加のきっかけとなる取り組みが必要となっています。
*各文化団体・活動の後継者育成が今後の課題
- ◆小林酒造などの歴史的な建造物の保全・活用に向けた制度の構築が必要となっています。

施策① 芸術・文化活動の推進

- 優れた芸術・音楽鑑賞機会の提供
- 文化団体の育成と町民による芸術・文化活動の推進
- 町内で創作活動を行う芸術家への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
72	町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。	小学校での演劇鑑賞事業、美術展など芸術鑑賞事業、札幌ひなまつりコンサートなどの音楽鑑賞事業の実施、文化振興基金活用事業の実施 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	6,080千円	主な事業実績	カルチャープラザ運営実行委員会や、室内楽コンサート実行委員会への支援等により、芸術鑑賞の機会を提供しました。また、文化振興基金補助金の活用により町民の自主的な文化活動を支援しました。 【主な事業内容】 ○演劇鑑賞事業：550人 ○美術展等鑑賞事業：289人 ○札幌ひなまつりコンサート：中止 ○室内楽コンサート：70人 ○カルチャープラザ運営実行委員会主催コンサート：421人 ○文化振興基金補助金：芸術家支援3件、地域文化振興事業7件	
決算額	3,591千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			885千円
	一般			2,706千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_05 (3,591千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
73	町民や文化団体による芸術・文化活動を支援します。	芸術祭・音楽祭の開催支援、芸能祭・菊花展など栗山町文化連盟事業の支援	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	310千円	主な事業実績	芸術祭実行委員会、音楽祭実行委員会の活動を支援し、くりやま芸術祭、くりやま音楽祭を開催したほか、栗山町文化連盟の活動を支援し、芸能祭・菊花展を開催しました。	
決算額	310千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			310千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_04_05 (310千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
74	芸術創造のまちづくりを推進します。	芸術家による工房新築・改築の支援(奨励金)、個展開催支援(奨励金)、あさひ工房での工房体験教室の実施	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	41千円	主な事業実績	創作活動施設であるあさひ工房にて、デジタル工作教室(28人)を開催しましたが、3月実施予定分は新型コロナウイルス感染症対策により中止しました。	
決算額	35千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			35千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_10_04_05 (35千円)			

施策② 文化財保護・活用の推進

- 文化財及び伝統文化に対する町民理解・意識の高揚
- 歴史的文化財の保護・活用

No.	計画事業	事業概要	担当課
75	ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。	文化財の指定・文化財保護の啓発活動の推進、栗山町開拓記念館事業の推進、文化財保存継承補助制度の創設・運用 など	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	12,492千円	主な事業実績 開拓記念館において、収蔵品を活用したテーマ別の特別展示を4回開催したほか、参加型のイベントにより栗山町の歴史や文化の情報を発信しました。 また、栗山町文化財保護委員会を3回開催しました。 【令和元年度末の状況】 ○開拓記念館収蔵品数：7,475点 ○町指定文化財：10件 ○歴史的建造物等保存継承事業補助金： 国の登録有形文化財「小林酒造酒蔵群二番蔵」の屋根葺き替え	
決算額	12,339千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		5,000千円
	一般	7,339千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_10_04_05 (5,071千円) 01_10_04_07 (7,268千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
76	歴史的建造物などの保存・継承に向けた支援制度を検討します。	※前期で終了（計画事業75に統合）	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	0千円	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
決算額			
(財源内訳)	国庫		
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)		

(6) 国際・地域間交流

計画策定時の主な課題

- ◆ 姉妹都市である宮城県角田市との交流を継続的に推進する必要があります。
- ◆ 児童生徒等の国際感覚を養うため、国際交流の機会づくりを推進する必要があります。
* 少年ジェット派遣事業は、英語圏以外への派遣について検討が必要

施策① 国際交流の推進

- 国際社会に対応できる青少年の育成

No.	計画事業	事業概要	担当課
77	少年ジェット派遣事業を行います。	町内在住の中高生（8名程度）の海外派遣研修を実施 （8泊程度で英語圏への派遣を予定）	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	3,573千円	主な事業実績 外国でのホームステイや体験、交流を通じて国際感覚を養うとともに、豊かな感性や創造力を備えた青少年を育成するため、中高生10人（栗山高校卒2人含む）をオーストラリアに派遣しました。	
決算額	2,988千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		2,605千円
	その他		383千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_16 (2,988千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
199	新規 介護学生とフィンランド学生との交換留学を行います。	介護学生のフィンランドへの派遣、報告会の開催、フィンランド学生の受入 ※計画事業 51 から分離	介護福祉学校事務局

実績

最終予算額	1,025千円	主な事業実績 平成9年から実施しているフィンランド学生交流事業は、今年度で23回目となり、本校学生を4人派遣し、フィンランドより2人を受け入れしました。派遣された学生による町民公開報告会は、11月28日に実施し、14人の一般参加がありました。 一日体験入学での報告会は、3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	
決算額	943千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		943千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_16 (943千円)		

施策② 地域間交流の推進

- 多様な分野での地域間交流の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
78	姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業を行います。	姉妹都市子ども交歓のつどい、姉妹都市青年交歓のつどい、英語コミュニケーションスキル研修（福島県川俣町との連携事業）の実施	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	1,400千円	主な事業実績 姉妹都市である宮城県角田市の派遣団30人の受入を行い、交流事業を実施しました。 青年交流事業については、角田市派遣団の受入事業を予定していましたが、台風21号の影響により中止しました。 被災地との交流事業として、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスにて、福島県川俣町と栗山町の中高生25人がイングリッシュキャンプに参加しました。	
決算額	1,350千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	1,350千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_15 (850千円) 01_10_04_01 (500千円)		

Ⅲ 医療・保健・福祉

健康に暮らせるふるさとづくり

(1) 保健

計画策定時の主な課題

- ◆ 特定健診・各種がん検診の受診率向上対策、健（検）診受診に対する町民意識の醸成が必要となっています。
 - * 特定健診受診率 近隣町 58.3% : 栗山町 23.7%
 - * がん検診受診率 近隣町 38.5% : 栗山町 14.2%
- ◆ 健康づくり推進協議会等と連携し、地域全体の健康づくりの意識・環境を高める取り組みが必要となっています。

施策① 生活習慣病予防・重症化予防の推進

- 「がん」及び生活習慣病予防対策による健康寿命の延伸

No.	計画事業	事業概要	担当課
79	がんの早期発見・早期治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、若年者等のがん検診受診勧奨強化・無料クーポン検診の実施など（二次予防）	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	10,142千円	主な事業実績 がんの知識や予防について、広報記事掲載や健康教育で、普及啓発に取り組みました。がん検診は、女性限定日や日曜日開催等受けやすい検診体制を継続し、2,892件の利用（5つのがん検診項目の総件数）がありました。 胃がん予防の目的で、中学2年生（3年生の一部を含む）を対象にピロリ菌検査を実施し、96人が検査を受けました。また、検査及び除菌治療費の全額を助成しました。	
決算額	9,754千円		
(財源内訳)	国庫		174千円
	道費		1,294千円
	町債		0千円
	その他		3,631千円
	一般		4,655千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_02 (4,816千円) 02_05_02_01 (4,938千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
80	脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。	啓発活動・健康教育・講座等の実施（一次予防）、特定健診と保健指導、若年者受診勧奨強化、脳検診対象拡大など（二次予防）	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	20,819千円	主な事業実績	生活習慣病予防や脳血管疾患の早期発見を目的とした各種健康診断を実施しました。 【主な健診内容と受診者数】 ○栗山町国保被保険者対象の特定健診：742人 ○若年者を対象とした29歳34歳無料健診：34人 ○75歳以上を対象としたいきいき健診：132人 ○脳検診・脳ドック：263人	
決算額	19,985千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			11,458千円
	町債			0千円
	その他			2,370千円
一般	6,157千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_02 (5,662千円) 02_05_01_01 (14,323千円)			

施策② 生活習慣改善活動の推進

- 生活習慣病予防につながる適切な生活習慣形成の推進
- 口腔機能の維持と歯の喪失防止

No.	計画事業	事業概要	担当課
81	バランスのとれた食生活や運動習慣の習得など、より良い生活習慣への改善を推進します。	食生活改善の啓発・栄養・食に関する教育など（食の健康推進）、運動習慣の習得や禁煙・適正飲酒など生活習慣改善の推進	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	349千円	主な事業実績	地域や団体からの依頼に合わせて、運動や健康チェック（血圧測定の勧め）等の健康教育を実施しました。 また、高血圧対策である「減塩」や「薬」をテーマに、食事の工夫や内服薬について、日頃の生活習慣を振り返られるように支援しました。	
決算額	260千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			70千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	190千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_02 (260千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
82	乳幼児「う歯」予防、成人・高齢者の歯周病予防など、口腔の健康づくりを推進します。	子どもの「う歯」予防の推進（健診・フッ化物洗口など）、成人・高齢者の歯の歯周病予防、よい歯コンクール事業の実施 など	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	2,373千円	主な事業実績	<p>口腔の健康づくりのため、妊娠期から乳幼児期の歯科健診、4歳児5歳児を対象としたフッ化物洗口を実施しました。また、口腔ケアに対する意識の向上を図るため、「栗っ子よい歯の表彰式」を行い、8人を表彰しました。</p> <p>成人・高齢者を対象として、40歳以上の節目年齢の方を対象に「成人高齢者歯科健診」を実施し、110人が受診しました。</p>	
決算額	2,006千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			254千円
	町債			0千円
	その他			1,161千円
	一般	591千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_02 (2,006千円)			

施策③ 健康を守る地域環境づくり

- 妊娠前から乳幼児・学童期までの親子の健康づくり
- こころの健康を支える地域環境づくり
- 町民が主体的にかつ連帯して取り組む健康づくり運動の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
83	妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支えます。	特定不妊治療助成、妊婦保健指導、妊産婦安心出産支援事業（妊産婦タクシー・交通費助成など）、家庭訪問等の育児支援、学童期の生活習慣形成、任意予防接種費助成の実施 など	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	8,692千円	主な事業実績	<p>妊娠期から幼児期に至るまで、子育て支援施策と連携し、母子手帳の交付（妊婦保健指導）、特定不妊治療の費用助成、生後1か月健診の費用助成、乳幼児健診などの母子保健事業を実施しました。</p> <p>※予算残の1,485千円は、令和2年度予算へ全額繰り越しました。</p>	
決算額	7,207千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	7,207千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_02 (7,207千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
84	ストレス要因の軽減や早期発見・支援など、こころの健康づくりを推進します。	啓発活動（一次予防）、自殺対策・産後うつ対策など（二次予防）、ハイリスク者等の専門個別支援（三次予防） など	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	282千円	主な事業実績 インターネットやスマートフォンで簡単に健康チェックができる、メンタルヘルスシステム「こころの体温計」を継続運用しました。 こころの健康づくり講座を町民を対象に1回開催しました。 また、悩みを抱えている方をサポートできる人材養成を目的とした講座を、民生委員を対象に1回開催しました。	
決算額	247千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		96千円
	町債		0千円
	その他		32千円
一般	119千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_02 (247千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
85	地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。	健康づくり推進協議会の活動支援、「健康寿命延伸のまちづくり宣言」関連事業の実施	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	610千円	主な事業実績 町民主体で健康づくり活動を行っている「健康づくり推進協議会」の活動支援として、モニター事業（健足くらぶ）を協働で実施しました。 また、健康な足の作り方を学び、ウォーキングの実践・歩数測定から「歩きたくなる・歩いてしまうまちづくり」について検討しました。 健康マイレージ事業は、努力した行動にポイントを付与する努力型ポイントについて検討し、令和2年度より現行のマイレージ事業の拡大につなげることができました。	
決算額	610千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	610千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_02 (610千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
86	健康づくりに係る町の方針を宣言し、町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。	※前期で終了（計画事業 85 に統合）	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	0千円		
決算額	0千円		
(財源内訳)	国庫	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
	道費		
	町債		
	その他		
	一般		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)		

施策④ 健幸のまちモデルの構築

- 健康で生きがいある暮らしができるまちづくりモデルの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
87	健康で生きがいをもてる新しい都市モデルの調査研究を進めます。	スマート・ウェルネス・シティ（健幸都市）首長研究会、日本健幸都市連合への参加、庁内プロジェクト検討チームの設置・調査研究（先進事例等）、スマート・ウェルネス整備事業（新町地区に健康器具を設置）	住民保健課 健康推進G

実績

最終予算額	348千円	主な事業実績	<p>スマート・ウェルネス・シティ首長研究会に参加し、先進事例を学ぶとともに参加市町村や関係者と情報交換を行いました。</p> <p>また、庁内関係各課で構成するスマート・ウェルネス・シティ庁内研究会を開催し、「栗山町健幸のまちづくり計画」を策定しました。</p>	
決算額	347千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	347千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_01 (347千円)			

(2) 地域医療

計画策定時の主な課題

- ◆高齢化の進展により病床数には限度があるため、入院中心の医療から、在宅療養をはじめとする医療と介護が連携したサービス体制の構築が必要となっています。
 - * 医療と介護の相互理解・連携の推進が必要
- ◆深刻な医師不足により日赤病院の医師確保が困難な状況にあります。また、施設の老朽化（築33年）が進んでいる状況もあり、地域の医療水準のあり方と医師確保の問題の具体的な検討が必要となっています。
 - * 日赤病院の中核医療機関としての役割、病院施設のあり方について検討が必要

施策① 医療水準の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る医療供給体制の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
88	地域に必要な医療水準の維持に努めます。	赤十字病院の医師確保を助成（循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科等）、医療関係者などによる地域医療対策委員会の開催、地域医療環境整備基本構想・計画の策定 など	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	35,359千円	主な事業実績	<p>町内にない診療科（循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科・精神科・透析）の確保や、町内にあるが、日赤病院においても一部確保が必要な診療（整形外科）体制を構築するために日赤病院に対して助成を行いました。</p> <p>また、地域医療対策の推進を図ることを目的とした「栗山町地域医療対策委員会」の開催、本町唯一の病院である栗山赤十字病院の老朽化や耐震問題により、早期に改築等を含めた病院整備について検討する「栗山赤十字病院改築等検討委員会」を開催しました。</p>	
決算額	35,128千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			4,250千円
	一般			30,878千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_04_01_03 (35,128千円)			

施策② 在宅医療提供体制の推進

- 医療と介護の一体的な提供などによる在宅療養生活の支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
89	在宅療養生活を支える医療供給体制等を推進します。	訪問看護事業の推進、地域医療対策委員会による推進策の検討、医療機関等の在宅医療参入への支援制度の検討、町民による在宅医療サービス等の利用促進制度の検討	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	700千円	主な事業実績	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団への会員となることで、長沼地域訪問看護ステーションによる訪問看護事業の利用が可能となり、282人、1,284回の利用実績がありました。	
決算額	700千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	700千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_03 (700千円)			

施策③ 救急医療体制の維持・確保

- 町民の安心な暮らしを守る救急医療体制の維持・確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
90	初期救急医療の確保に努めるとともに、二次救急病院への支援をします。	赤十字病院による夜間・休日救急医療への助成、適切な救急医療受診に関する町民啓発、看護師等による24時間電話救急医療相談窓口（札幌市事業）の利用	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	61,750千円	主な事業実績	初期及び二次救急医療に対応可能な体制確保を推進するために、栗山赤十字病院に対し助成を行いました。 また、町民の安心確保及び救急医療の適正化を図るため、町内において、救急車を呼ぶかどうか迷った際に年中無休24時間、看護師に電話による救急医療相談ができるサービス「救急安心センターさっぽろ」に参加しました。 ○相談件数：94件	
決算額	58,856千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			5,000千円
一般	53,856千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_04_01_03 (58,856千円)			

(3) 児童福祉

計画策定時の主な課題

- ◆就労形態、急な用事など、家庭の状況に応じたきめ細かい子育て支援が求められています。
- ◆少子化、核家族化が進む中、子育ては地域社会全体で支える必要があります。
- ◆幼児期の子育て支援を充実するために、施設等の環境整備が必要となっています。

施策① 子育て家庭への支援

- 妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援の充実
- 子育て家庭の経済的な負担軽減

No.	計画事業	事業概要	担当課
91	妊娠・出産・子育てに関する、相談機能を充実します。	ファイナンシャルプランナーを活用した生活支援（出前講座、個別相談会） など	若者定住推進課 若者定住推進G

実績

最終予算額	230千円	主な事業実績	<p>若者・子育て世代が抱える将来の経済面の不安を解消するため、ファイナンシャルプランナーによる出前講座、家計の問題に対する個別相談の実施や、広報紙面による情報提供を行いました。</p> <p>【実績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出前講座：1回、33人参加 (新型コロナウイルス感染予防で中止1回) ○広報掲載：6回 	
決算額	60千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			60千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_22 (60千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
92	子ども医療費を助成します。	高校3年生までの医療費を助成（町外医療機関での受診は入院のみ、ただし未就学児は町外通院も助成対象）	住民保健課 国保G

実績

最終予算額	27,268千円	主な事業実績	<p>子育て家庭への経済的負担を軽減し、子育てのしやすい環境づくりを推進するため、高校3年生まで子どもへの医療費を助成しました（平成27年4月から、対象年齢を高校3年生までに拡大）。</p> <p>○対象者数：1,292人（平成30年度1,336人）</p>	
決算額	25,941千円			
（財源内訳）	国庫			0千円
	道費			5,240千円
	町債			18,500千円
	その他			1,000千円
一般	1,201千円			
（参考） 会計別決算額	会計_款_項目（決算額） 01_03_02_01 (25,941千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
93	子育て家庭の支援や、子育てしやすい環境の充実に図ります。	「子ども健やか育み宣言」に基づく各種支援事業の実施（子育てサロン・相談事業、子育てサポート事業など）、子育て応援券支給事業、育児応援企業への奨励金制度の創設、子育て支援センターの運営・長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備など	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	13,064千円	主な事業実績	<p>【主な事業実績】</p> <p>○移動子育てサロンを、角田地区・継立地区で開催し、計13回、76組170人の参加がありました。</p> <p>○赤ちゃん祝い品を44人に贈呈しました。</p> <p>○子育て応援券を58人に支給しました。</p> <p>○ファミリー・サポート・センターは108人の会員登録があり、延べ169回の利用がありました。</p> <p>また、施設の長寿命化を図るため子育て支援センターの個別施設計画の策定に着手しました。</p>	
決算額	12,494千円			
（財源内訳）	国庫			1,877千円
	道費			1,877千円
	町債			2,000千円
	その他			1,000千円
一般	5,740千円			
（参考） 会計別決算額	会計_款_項目（決算額） 01_03_02_01 (7,569千円) 01_03_02_03 (4,925千円)			

施策② 子どもの健全育成の推進

- 子どもの健全な遊びや活動の場づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
94	児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。	栗山町児童センターの運営、栗山・角田・継立地区の放課後児童クラブの運営	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	24,928千円	主な事業実績	<p>児童センターでは、一般児童の利用、放課後（にじのこ）児童クラブの運営等を実施しました。その他、各地域における放課後児童クラブを設置運営では、働く家庭の支援と子どもの居場所づくり、遊びの場づくりを実施しました。</p> <p>【実績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童センター利用者数：延 3,075 人 ○放課後児童クラブ利用者数：延 24,829 人 <ul style="list-style-type: none"> ・にじのこ児童クラブ（栗山） 16,199 人 ・かぜのこ児童クラブ（角田） 3,652 人 ・どんぐり児童クラブ（継立） 1,992 人 ・マロンキッズ児童クラブ（栗山） 2,986 人 <p>その他、各児童クラブでは、急な預かりを必要とする家庭を支援するための一時預かり事業を実施し、児童クラブ全体で延 1,334 人の利用により子育て家庭の支援を実施しました。</p>	
決算額	24,490千円			
(財源内訳)	国庫			4,447千円
	道費			4,447千円
	町債			0千円
	その他			8,368千円
	一般			7,228千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_02_03 (24,490千円)			

施策③ 保育・教育の質の向上

- 関係機関と連携した安心安全な保育・教育環境の充実

No.	計画事業	事業概要	担当課
95	民間保育園などと連携を図り、保育・教育の質を高めます。	一時保育・延長保育、新制度による利用者負担額を勘案した保育料の軽減、病児・病後児保育事業の調査検討 など	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	11,461千円	主な事業実績	保育園運営法人と連携し、一時保育（442件）、延長保育（457件）を実施しました。	
決算額	11,072千円			
(財源内訳)	国庫			2,220千円
	道費			2,220千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	6,632千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_02_02 (11,072千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
194	認定こども園の施設整備を支援します。	※前期で終了（事業完了）	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
決算額				
(財源内訳)	国			
	道			
	町			
	その他			
一般				
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)			

施策④ 要保護児童対策の推進

- 子育て・養育困難家庭への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
96	要保護児童対策の強化を目指し、効果的な組織体制づくりを進めます。	児童虐待ネットワーク構築、おや？おや？安心サポートシステムの構築により子育て困難家庭などを支援	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	40千円	主な事業実績	<p>おや？おや？安心サポートシステム研修会は各保育園、こども園で抱えているケースについて考え、37人の保育士や保健師、福祉関係者が参加し、複雑化・多様化しているケースへの支援について考察しました。</p> <p>【実績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要保護児童対策地域協議会代表者会議 1回 ○ケース検討会議 8回 ○児童相談所送致 2人 	
決算額	40千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	40千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_02_01 (40千円)			

施策⑤ 子ども発達支援の充実

- 心身の障害等がある子どもの早期発見と適切な支援
- 心身の障害児・者の健康保持・育成助長と家庭生活の安定・向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
97	心身に障がいや発達の遅れのある子どもを支援します。	特定相談支援・障がい児相談支援の実施、個別指導・小集団指導による子ども発達支援、理学療法士による運動指導の実施 など	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	1,406千円	主な事業実績 個別・集団の療育指導を実施した児童数は、延1,112人と、新型コロナウイルス感染症の影響もあり前年度より100人ほど減の利用となりました。 その他、理学療法士による運動指導は延123人、発達相談26件、一般開放事業等延91人の実績がありました。	
決算額	1,216千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		1,216千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_02_03 (1,216千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
98	心身障がい児の療育サービス利用に係る費用負担の軽減を図ります。	児童発達支援および道立子ども総合医療・療育センター等利用に係る費用の一部を助成	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	1,454千円	主な事業実績 発達面で配慮が必要な児童の早期発見と、早期の適切な療育サービス利用につなげるため、54世帯65人の児童の療育サービス（障がい児通所サービス利用料・交通費、北海道立子ども医療・療育センター等通院費）に関する費用助成を行いました。	
決算額	1,078千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		500千円
一般	578千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_02_01 (1,078千円)		

施策⑥ 施設・環境整備の推進

- 安全で利用しやすい施設環境の整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
99	栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。	※前期で終了（計画事業 93 に統合）	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	0千円												
決算額	0千円												
(財源内訳)	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道</td> <td></td> </tr> <tr> <td>町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一</td> <td></td> </tr> </table>			国		道		町		そ		一	
国													
道													
町													
そ													
一													
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)												
会計別決算額													

本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。

No.	計画事業	事業概要	担当課
100	栗山町児童センターの計画的な改修・設備更新を行います。	施設老朽箇所の改修（照明器具 LED 化）、屋上防水改修、長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備 など	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	381千円	主な事業実績 施設の省エネ対策と環境改善のための継続的改修として、照明器具の一部にLED改修を実施しました。 また、施設の長寿命化を図るため個別施設計画の策定に着手しました。
決算額	381千円	
(財源内訳)		
国庫	0千円	
道費	0千円	
町債	0千円	
その他	0千円	
一般	381千円	
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)	
会計別決算額	01_03_02_03 (381千円)	

(4) 高齢者福祉

計画策定時の主な課題

- ◆介護予防事業の参加者を一層拡大するため、介護予防の重要性を広く周知し、若い世代も含めた意識啓発が必要となっています。
- ◆行政、事業所及び関係機関の連携による高齢者支援のサービス展開が必要となっています。

施策① 介護予防の推進

- 高齢者の生活機能維持・向上と改善

No.	計画事業	事業概要	担当課
101	高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。	一般介護予防事業（介護予防普及啓発・地域介護予防活動支援・地域リハビリテーション活動支援事業）、認知症高齢者見守り事業、認知症総合支援事業の実施	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	10,386千円	主な事業実績 一般介護予防事業は下記のとおり実施し、新規事業として、栗山自動車学校の協力を得て、運転技術に関わる身体・認知機能低下予防の啓発を目的に、「いきいき安全運転講習会」を5回、「女性のための健康講座」を2回、「男性のための体力づくり講座」を2回開催しました。 また、地域における住民主体の介護予防活動の育成、支援を行うために「いきいき百歳体操」のサポート養成講座を実施、その結果、6地区と介護保険事業所1か所での「いきいき百歳体操」の実施に繋がりました。 【一般介護予防事業の実績】 ○小集団運動教室：4会場・55回 ○生きがいづくり教室：40回 ○プール運動教室：41回 ○あたまイキイキ教室：19回 ○脳の健康教室：栗山会場 25回	
決算額	9,906千円		
(財源内訳)	国庫		2,401千円
	道費		1,200千円
	町債		0千円
	その他		5,105千円
	一般		1,200千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 07_03_02_01 (8,852千円) 07_03_03_05 (59千円) 07_03_03_08 (995千円)		

施策② 地域に密着した高齢者福祉事業の充実

- 医療・介護の関係機関等と連携した地域包括ケアシステムの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
102	生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。	総合事業の実施、医療と介護の連携を含めた地域包括ケアシステムの構築、高齢者の地域・在宅生活支援の充実 など	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	65,566千円	主な事業実績 下記の事業実施のほか、除排雪サービスについては高齢者実態調査におけるニーズ調査、除雪ボランティアの募集、除雪事業者にアンケート調査を実施しました。 【主な実績】 ○介護保険適用外サービス ・在宅福祉生活支援事業（除排雪費用助成）：177人 ・高齢者介護福祉金：75人 ・無年金者生活支援給付金：3人 ○介護保険適用サービス ・配食サービス：531人 ○地域包括ケアシステムの構築 ・医療介護マップの作成 ・認知症カフェ（オレンジカフェ）：11回	
決算額	63,798千円		
(財源内訳)	国庫		13,775千円
	道費		6,888千円
	町債		2,500千円
	その他		28,298千円
(参考) 会計別決算額	一般		12,337千円
	会計_款_項目 (決算額)		
	01_03_01_02 (11,428千円)		
	07_03_01_01 (42,801千円)		
	07_03_03_05 (4,201千円)		
	07_03_03_06 (200千円)		
	07_03_03_07 (5,066千円)		
	07_03_03_09 (102千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
103	南部地域における高齢者対策拠点の整備を検討します。	※前期で終了（計画事業 155 に統合）	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	0千円		
決算 (財源内訳)	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
104	南部地域における高齢者対策拠点の整備を検討します。	※前期で終了（計画事業 155 に統合）	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	<p>町内介護事業所、介護福祉学校及び町福祉課が連携し、町独自のヘルパー養成研修を実施（3人修了）しました。</p> <p>また、町内介護事業所従事者対象の「介護従事者技術研修」において介護福祉学校を会場として専任教員を講師とした研修会を2回開催しました。</p> <p>【主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア：9回（延べ32人） ○アルバイト：2施設（12人）
決算 (財源内訳)	0千円		
令和元年度の予算配当・執行はありません。	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

(5) 地域福祉

計画策定時の主な課題

- ◆家族・地域・関係機関等が連携して、災害時支援も想定した地域の支え合いの体制づくりが必要となっています。
- ◆元気な高齢者の生きがいづくり・活動の場の充実が必要となっています。
- ◆老々介護と言われる時代になり、家族介護を支える介護者支援が必要となっています。

施策① 社会参加と地域支え合い活動の推進

- 高齢者の知識・技能等を活かした社会参加の環境づくり
- 地域社会における高齢者等の見守り・支え合いの推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
105	高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。	高齢者等居場所づくり事業の推進、熟年人材センター（ボランティアセンター）など高齢者の社会参加の推進、シルバー人材センター（高齢者事業団）の設立推進（栗山町社会福祉協議会との連携事業）	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	1,304千円	主な事業実績 高齢者等居場所づくり事業として、南部遊歩道の駅で介護予防・健康増進事業の他、高齢者・障がい者との交流事業、ボランティアによる地域食堂を6回実施し、年間4,395人が利用しました。 また、栗山地区のふじ団地で年間799人、角田地区角田改善センターでは年間1,016人が利用しました。	
決算額	1,163千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		300千円
	一般		863千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_01_02 (1,163千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
106	地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。	生活支援体制の構築・推進、ケアラー支援推進協議会（条例の制定など）、命のバトン・ケアラーサポーターなど要援護者支援、ボランティアの育成、地域見守り事業の充実 など（栗山町社会福祉協議会との連携事業）	福祉課 高齢者・介護 ・医療G

実績

最終予算額	10,596千円	主な事業実績 社会福祉協議会事業への事業補助を行いました。 【主な実績】 ○命のバトン配布事業 ・配布数 578 本 ○まちなかカフェ事業（サンタの笑顔） ・来場者数：8,195 人 ・ボランティア協力回数：338 回（6 団体） ○ケアラーサポート事業 ・スマイルサポーター（ケアラー相談員）2 人 配置し、相談窓口を設置	
決算額	10,596千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		10,500千円
	その他		0千円
	一般		96千円
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_03_01_01 (10,596千円)		

(6) 障がい者福祉

計画策定時の主な課題

- ◆対象者のニーズを把握したサービスの展開と周知・PRの徹底が必要となっています。
- ◆障がい者の就労意向と受入可能な事業所を確保し、社会参加の拡大に向けた取り組みが必要となっています。

施策① 社会参加・自立支援

- 障がい者の生活エリアの拡大と経済的負担の軽減
- 社会参加の推進と自立支援団体の活動支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
107	障がい者の自立した地域生活を支援します。	ハイヤー利用助成、特定疾患通院費等助成、日中一時支援など、障がい者等の日常生活・活動をサポート	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	2,527千円	主な事業実績	<p>障がい者の地域生活（在宅等）を支援するため、各種助成・支援事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉ハイヤー利用料金助成：40人 （歩行困難者等へのハイヤー券発行） ○特定疾患患者等通院費等助成：37人 （対象者の通院に係る交通費等を支援） ○日中一時支援：11人 （保護者等による介助困難時の一時預かり） ○手話奉仕員養成講座（入門編）：9人修了 （聴覚障がい者とのコミュニケーションの円滑化と障がいに対する理解を深めるための講座を開催） ○障がい者就労支援通所交通費助成：6人 （精神障がい者の通所に係る交通費を支援） ○その他、緊急通報システム事業（1人）など 	
決算額	1,714千円			
(財源内訳)	国庫			158千円
	道費			424千円
	町債			0千円
	その他			17千円
	一般			1,115千円
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_03_01_04（1,714千円）			

No.	計画事業	事業概要	担当課
108	障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。	地域自立支援協議会など障がい者団体の活動を支援、ふるさと福祉基金事業による障がい者団体等の活動支援	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	4,297千円	主な事業実績 障がい者（身体・知的・精神）の社会参加と相互交流の機会づくりとして「ふれあいレクリエーション」を実施し、各関係団体より90人が参加しました。 精神障がい者家族会よつば会への事業委託により、地域住民参加型研修会「こころの研修会」を開催。障がい当事者及びその家族、一般町民など30人が参加し、精神障がいに対する理解・関心を深め、意識啓発の機会づくりを行いました。 栗山町ふるさと福祉基金を財源として、「リーディングサービスとらいあんぐる」他3事業所に障がい者支援事業に係る事業費を助成しました。	
決算額	3,705千円		
(財源内訳)	国庫		80千円
	道費		45千円
	町債		0千円
	その他		3,440千円
	一般	140千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_03_01_04 (3,705千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
200	新規 障がい者への専門的な相談支援体制の充実を図ります。	広域基幹相談支援センター（広域拠点）の設置による相談支援機能の強化、福祉サービス・相談支援従事者向け研修 など	福祉課 福祉・子育てG

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 障がいに関する総合的・専門的な相談支援体制を広域連携により整備するための協議を実施しました。 今後も引き続き関係市町との協議を行い、早期実施に向けて取り組みます。	
決算	円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		円
			円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)		

IV 産 業

賑わいと活力あるふるさとづくり

(1) 農林業

計画策定時の主な課題

- ◆ 地域農業の担い手育成および新規参入者の受入体制の充実が必要となっています。
- ◆ 資源循環型農業の推進、付加価値ある商品開発、グリーン・ツーリズム活動の推進などが必要となっています。
- ◆ 担い手への農地集積の促進が必要となっています。
- ◆ 生産性の高い農地整備のため、引き続き道営事業などによる農業生産基盤整備が必要となっています。
- ◆ 森林の持つ公益的機能を維持・増進するため、計画的な森林整備が必要となっています。

施策① 担い手の育成

- 地域の中心的な役割を果たす農業後継者の育成
- 意欲ある新規就農者の受け入れ支援
- 農業経営改善などに係る農業者の経済的負担の軽減
- 地域営農システムの構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
109	農業後継者の育成を図ります。	栗山町農業教育振興会（農業研修）への助成、栗山町農業振興公社による後継者育成事業（青年農業賞、未来塾・女性塾等）など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	3,659千円	主な事業実績 栗山町農業教育振興会による農業青年を対象とした道外研修（2人）及び海外研修（3人）の派遣や青年農業賞の表彰、くりやま農業未来塾（4人）・くりやま農業女性塾（11人）運営の事業主体である一般財団法人栗山町農業振興公社への支援（事業負担金の支出）、栗山4Hクラブ活動へ支援しました。	
決算額	3,659千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		1,600千円
	一般		2,059千円
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_06_01_05 (3,659千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
110	新規就農者の受け入れを進めます。	経営開始直後の青年農業者に対する助成、栗山町農業振興公社による新規就農支援事業（相談・研修・助成事業等）、地域おこし協力隊事業 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	35,768千円	主な事業実績 新規就農者受け入れの事業主体である、一般財団法人栗山町農業振興公社への支援（事業負担金の支出）や、農業次世代人材投資事業・地域おこし協力隊事業の活用により、5人の就農研修生を受け入れ、4人が新規就農しました。 また、経営を開始した新規就農者に対しても、巡回指導や交流会を開催し、営農面、生活面でもサポートしました。	
決算額	35,767千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		16,875千円
	町債		0千円
	その他		4,900千円
一般	13,992千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_05 (35,767千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
111	営農活動の安定化支援と、集落営農組織の育成を図ります。	農業振興資金貸付け・利子助成、認定農業者の支援、栗山町農業振興公社による地域営農支援 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	2,629千円	主な事業実績 営農活動の安定化支援につなげるため、農業経営基盤強化資金等の融資を受けた農業者に対し、利子助成などを行い集落営農組織を育成しました。 ○認定農業者制度の取り組み：288人 ○農業経営基盤強化資金利子助成：21件 ○栗山町農業振興公社運営支援（営農活動支援） 2,000千円	
決算額	2,602千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		301千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	2,301千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_03 (2,602千円)		

施策② 生産性の高い農業・農地整備の推進

- 生産性向上や経営改善に向けた取り組みへの支援
- 農地の遊休化防止と担い手への円滑な流動化の推進
- 土地改良事業等による農業基盤の整備
- 農村地域の環境保全と多面的機能の発揮
- エゾシカ等による農産物の食害防止

No.	計画事業	事業概要	担当課
112	栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。	安全安心・良質な農産物生産活動を支援、農村環境保全に効果の高い営農活動を支援、農業用機械・施設整備の支援、ICT技術導入の推進・利活用検証等 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	147,153千円	主な事業実績	<p>農業における地球温暖化防止及び生物多様性の保全を図るため、化学肥料及び化学合成農薬の低減と併せて地球温暖化防止効果の高い営農活動に対し環境保全型農業直接支援事業により支援しました。</p> <p>また、経営体育成支援事業・畑作構造転換事業を活用し、担い手に対する農業機械、施設導入、省力化の推進を図るためのICT技術の導入に対する支援を行いました。</p> <p>【主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業直接支援事業：10経営体・53.01ha ○被災農業者向け経営体育成支援事業：123経営体 ○担い手確保事業：3経営体 ○地域づくり交付金事業：1経営体 ○畑作構造転換事業：4組織 ○ICT支援：3経営体 <p>※予算残の内30,000千円は、令和2年度予算へ繰り越しました。</p>	
決算額	107,631千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			96,565千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	11,066千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_03 (107,631千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
113	農地の円滑な流動化の推進と、優良農地の確保を図ります。	栗山町農業振興公社による農地流動化の推進、農地利用集積の円滑化、規模拡大支援、農地の中間保有 など	産業振興課 農林業振興 G

実績

最終予算額	1,000千円	主な事業実績	農地の遊休化防止と担い手農業者への農地集積を促進するとともに、生産性及び経営効率の向上を図るため、一般財団法人栗山町農業振興公社による農地利用意向調査事業等の農地流動化事業への支援及び、全国統一の農地情報システムの導入に対し支援を行いました。	
決算額	1,000千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	1,000千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_06_01_03 (1,000千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
114	国営事業などによる計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	国営道央かんがい排水事業償還負担、国営造成施設（農業用施設）の適切な維持管理 など	建設課 技術 G

実績

最終予算額	25,577千円	主な事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○国営造成施設管理体制整備促進事業 栗山地区、由仁地区、北海地区において、適正な土地改良施設の維持管理を実施しました。 ○国営道央かんがい排水事業及び国営道央用水（三期）地区かんがい排水事業 平成 30 年度事業完了分に係る負担金を償還しました。 	
決算額	25,504千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			14,112千円
	町債			8,000千円
	その他			2千円
	一般	3,390千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_06_01_04 (25,504千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
115	道営事業による計画的な基盤整備と、施設の維持管理を行います。	道営農業農村整備事業（南角田、継立、円山、富士、御園地区） など	建設課 技術G

実績

最終予算額	47,555千円	主な事業実績 南角田南部地区他3地区において、道営土地改良事業により農業用排水施設、区画整理及び暗渠排水を整備しました。 また、継立ため池1地区及び同2地区で、防災減災のための整備を実施しました。 【主な整備内容】 ○区画整理：40.05ha ○用水路：5,252m ○排水路：3,149m ※予算残の内9,428千円は、令和2年度予算へ繰り越しました。	
決算額	37,214千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		18,980千円
	町債		15,755千円
	その他		0千円
	一般	2,479千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_04 (37,214千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
116	自然環境保全・景観形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を守り育てます。	地域住民が取り組む農地の維持・保全、植栽による景観形成、水路・農道・ため池などの補修・長寿命化などの活動を支援	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	182,623千円	主な事業実績 町内の協定農用地延べ5,183.7haにおいて、地域での多様な主体の参画を得て実施する農地・農業用水等の保全に関する共同活動や、施設の長寿命化などの活動に対し多面的機能支払事業により支援しました。	
決算額	182,583千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		137,137千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	45,446千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_03 (182,583千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
117	中山間地域等における農業生産・多面的な機能確保を支援します。	中山間地域等直接支払事業（対象農地への交付金） など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	153,597千円	主な事業実績 中山間地域等直接支払事業の第4期対策最終年度（平成27～31年度）で、313件の農業者が活動に参加し、協定農用地は1,727.76haとなりました。 各集落が取り組む水路や農道の維持補修などによる農地の多面的機能の確保や、共同利用機械の購入、鳥獣害対策、農業後継者育成対策等の活動が実施されました。	
決算額	153,593千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		115,190千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	38,403千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_03 (153,593千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
118	有害鳥獣駆除対策を推進します。	有害鳥獣（エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラスなど）の駆除、エゾシカ侵入防護柵の維持管理、エゾシカ食肉加工の推進	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	6,926千円	主な事業実績 農業等への被害防止のため有害鳥獣（エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラスなど）の駆除を実施しました。 また、エゾシカ食肉加工処理場は受け入れを廃止し、施設の将来的な活用方法等を関係機関と協議しました。 【有害鳥獣駆除実績】 ○エゾシカ：193頭 ○アライグマ：560頭 ○キツネ：110頭 ○カラス：173羽 ○キジバト：135羽 ○タヌキ 83頭	
決算額	6,491千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		207千円
	町債		0千円
	その他		1,500千円
	一般	4,784千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_06_01_02 (6,394千円) 01_06_01_06 (97千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
191	種馬鈴しょを安定的に生産・供給するための施設整備を支援します。	※前期で終了（事業完了）	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	0千円		
決算 (財源内訳)	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額）		

施策③ 農業・農村ブランドの推進

- 農産物加工や新商品開発、販路拡大に向けた取り組みへの支援
- グリーン・ツーリズムの推進
- 地力増進・景観向上に効果のある緑肥栽培への支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
119	6次産業化の取り組みを支援します。	農業者等が行う農産物加工、直売、農村レストランなどの新たな取り組みを支援、観光農業の調査研究	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	農産物を活用した加工品の研究開発、新たなビジネスの展開、販路拡大の取り組みなど、農業の6次産業化を支援するための周知・案内をしましたが、数件の問い合わせ、相談があったものの事業実施には至りませんでした。
決算 (財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
205	新規 大豆を安定的に生産・供給するための施設整備を支援します。	そらち南農業協同組合による大豆低温貯蔵施設等整備事業に対する支援	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	353,950千円	主な事業実績	大豆作付面積の増加に伴い、大豆調製施設能力増強及び品質向上のため、JAそらち南が整備する低温貯蔵施設に対する支援を行いました。	
決算額	353,950千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			296,950千円
	町債			57,000千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_06_01_03 (353,950千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
120	農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。	農業・農村体験受入、直売事業などを行う栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会の活動支援、景観緑肥の作付を支援 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	198千円	主な事業実績	栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会が実施する、農村・農業体験受入事業への取り組みを支援し、217人を受け入れました。	
決算額	198千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	198千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_06_01_03 (198千円)			

施策④ 森林の保全・整備

- 森林が持つ多面的機能を発揮するための計画的な整備・管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
121	造林事業などにより適正な森林管理を推進します。	町有林の保育管理（造林・下刈・間伐など）、 民有林の整備支援、林道の整備・充実 など	産業振興課 農林業振興G

実績

最終予算額	22,776千円	主な事業実績	町有林の保育管理（人工造林 4.88ha、下刈 16.98ha など）の実施及び民有林の保育管理（人工造林 27.52ha、下刈 92.72ha、間伐 5.08ha、更新伐 5.44ha、保育間伐 2.66ha）等への支援を行いました。	
決算額	22,761千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			8,670千円
	町債			0千円
	その他			3,608千円
	一般			10,483千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_05 (10,599千円) 01_06_02_01 (12,162千円)			

(2) 商工業

計画策定時の主な課題

- ◆進出希望企業の情報把握や積極的な情報発信など、関係機関とも連携した誘致活動が必要となっています。
- ◆高齢化や担い手不足など、商店街の空き店舗対策が必要となっています。
- ◆町内の消費者ニーズに対応した商店街の環境づくりが必要となっています。

施策① 商工業の振興

- 商店街が主体的に取り組む集客向上等の取り組み支援
- 商店街空き店舗活用の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
122	賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。	まちの駅栗夢プラザの運営支援、活性化イベント支援、空き地・空き店舗活用支援（開業支援）、くりやまギフトカードの利用促進、後継者・リーダーの育成、商店街実態調査の実施、商店街活性化計画（仮称）の策定 など	ブランド推進課 まちなか賑わい推進室

実績

最終予算額	10,497千円	主な事業実績 商店街活性化アクションプランを策定し、商店街と連携した子育て応援事業やまちの駅「栗夢プラザ」の運営など、商店街振興に繋がる取り組みを支援したほか、空き店舗活用支援事業を実施しました。 【主な実績】 ○子育て応援事業 ○商店街振興対策事業 ・栗夢プラザ運営助成 ・歩行者天国3地区統一行事助成 他7事業 ○空き店舗活用支援事業：2件	
決算額	10,237千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		5,700千円
	その他		0千円
	一般	4,537千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_07_01_01 (10,237千円)		

施策② 企業誘致・新産業創出の推進

- 工業団地等への企業誘致による雇用創出と地域経済活性化
- 町内商工業者の経営安定・改善に向けた支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
123	積極的な企業誘致活動を行います。	栗山町企業等誘致推進協議会による誘致活動の支援（トップセールスによる誘致活動、PRビデオ作製、ビジネスセミナー開催）、新規進出企業に対する用地購入費・雇用・水道料などの優遇措置	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	3,300千円	主な事業実績 栗山町企業等誘致推進協議会に対して誘致活動事業を支援しました。 【誘致活動の主な実績】 ○企業面談：111件 ○企業訪問：46件	
決算額	3,253千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		2,201千円
	一般	1,052千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_01 (3,253千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
124	町内商工業者の経営安定・改善などを支援します。	店舗等の新設・増設などの支援、一定基準を満たす商工業者への融資制度（中小企業振興資金）の運用、経営指導員による相談	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	129,448千円	主な事業実績 新築、増改築店舗に係る固定資産税の助成を行う栗山町商工業振興奨励金や、設備や経営近代化等に対して貸付する栗山町中小企業振興資金及び利子補給を実施したほか、経営指導員が金融相談・税務相談・労務相談など、企業経営について相談に応じられるよう栗山商工会議所に対し相談所開設費用を補助しました。 【主な助成実績】 ○栗山町商工業振興奨励金：17件 ○栗山町中小企業振興資金利子補給：205件 ○栗山町中小企業振興資金保証料補給：52件	
決算額	129,445千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		10,000千円
	その他		102,300千円
	一般	17,145千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_01 (129,445千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
193	ものづくりDIY工場の導入・活用を推進します。	DIY工場の導入・運用、ものづくりに関する人材育成（地域産業の担い手）等の事業委託 など	ブランド推進課 観光推進G

実績

最終予算額	14,882千円	主な事業実績	<p>ものづくりDIY工場の試行運営場所として「あさひ工房」へ工作設備を移設し、モニター利用調査（第1期及び第2期）やワークショップ試行などを実施しました。</p> <p>また、将来的な担い手の確保・育成として、地域おこし協力隊2人を採用し、国内における先駆的事業者の協力も得て、長期研修プログラムを実施しました。（令和2年10月まで継続）</p> <p>【参加実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モニター利用調査：第1期 9人（4～6月）、第2期 22人（8～3月） ○ワークショップ試行：延べ106人（4種・各1日間） ○担い手の確保・育成：地域おこし協力隊 2人 	
決算額	14,087千円			
(財源内訳)	国庫			3,159千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	10,928千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_23 (14,087千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
201	新規 新規創業者の起業を支援します。	新規起業・創業を促進するための新たな支援制度の構築・運用	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	関係機関と連携を図りながら、新規創業者が起業しやすい支援制度の構築を引き続き進めます。	
決算額	円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			
				円
				円
				円
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
202	新規 就業体験を受け入れる町内企業への支援制度を創設します。	地元就職を目的に就業体験を受け入れる町内企業および宿泊費や交通費に対する支援制度の構築・運用	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 地域産業を担う人材を確保するため、高校生による地元企業での職業体験を通じて理解を深め、将来的に地元での就職に繋がられるよう関係機関と協議を引き続き進めます。
決算	円	
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。	
	円	
	円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)	

(3) 観光・交流産業

計画策定時の主な課題

- ◆短期イベントだけではなく、通年で観光客を受け入れる観光資源などの検討が必要となっています。
*老舗まつりや夏まつりは一定の集客があるが、他の観光施設では減少傾向にある。
- ◆広域連携による観光メニューの検討、増加傾向にある海外観光客の受入態勢の検討が必要となっています。

施策① 観光・特産品PRの推進

- 関係機関との連携による新たな観光推進体制の構築と振興計画の策定
- 「栗」を活用した地域ブランドの開発
- 東アジアを中心とした海外への特産品の海外販路開拓及び観光客受入の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
125	新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。	関係機関などとの連携による観光推進組織の設置、観光振興計画の策定と事業展開、外国語版公式ガイドブック・ホームページによる情報発信、海外観光客受入交流事業、観光農業の調査研究 など	ブランド推進課 観光推進G

実績

最終予算額	13,288千円	主な事業実績 新たな観光推進体制の構築については、行政における初動段階の考え方や方向性をまとめた「観光振興スタートアップビジョン(素案)」を作成し、関係団体等への個別説明を進めました。 その他、くりやま夏まつり実行委員会、栗山秋まつり実行委員会、栗山観光協会等へ助成、観光ガイドブック(5カ国語)の更新及び配布、シェアサイクル導入に向けた実証実験を行いました。 【参加実績】 ○くりやま夏まつり来場者数：16,000人(2日間) ○栗山秋まつり来場者数：122,212人(3日間) ○シェアサイクル実証実験：14人 (7～9月・栗山公園)	
決算額	13,122千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		6,600千円
	その他		3,500千円
	一般		3,022千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_02 (13,122千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
126	「栗の活用」を推進し、新たな特産品や観光資源の創出を図ります。	北のくりやま栗づくり協議会の活動支援（栗の産地化、6次産業化など）	ブランド推進課 観光推進G

実績

最終予算額	2,000千円	主な事業実績 「北のくりやま栗づくり協議会」の活動に対して支援しました。 【主な事業内容】 ○商品化普及のための、加工業者への買取補助の実施 ○販売用ラベル作成（商号シール） ○栗の絵本づくり	
決算額	1,160千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		500千円
	一般	660千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_02 (1,160千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
127	東アジア市場への特産品の販路拡大を支援します。	海外販路開拓のための展示会・商談会出展に係る経費（輸送・渡航・通訳・広告宣伝費など）の一部助成	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	316千円	主な事業実績 町内中小企業等が、海外への販路の開拓及び拡大を推進するため、国内外で実施される展示会等への出展に要する経費の一部を補助する「栗山町海外販路開拓支援補助金」制度を施行しました。 当該制度の周知を行い、活用に向けた相談対応も行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施には至りませんでした。	
決算額	0千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	0千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_07_01_02 (0千円)		

施策② 都市農村交流の推進

- 豊かな自然・里山環境など、地域資源を活かした交流人口の拡大
- 宅地分譲地等を活かした町内への移住・定住の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
128	自然・農村環境を活かした体験教育プログラムを開発し、都市圏からの交流人口を拡大します。	町外小中学校・大学等の教育活動の受入	社会教育課 社会教育G

実績

最終予算額	500千円	主な事業実績 大学連携を中心に交流人口拡大を目的とした、自然体験プログラムや雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを利用した農泊事業に取り組むため、農泊推進対策協議会（構成団体：NPO雨煙別学校、栗山町グリーンツーリズム推進協議会・ハサンベツ里山計画実行委員会・商大グリーンツーリズム）への活動を支援しました。 【主な交流人口拡大に向けた活動内容】 ○大学連携：1回（テーマ：栗山町のPR） ○大学演習受入：2回	
決算額	250千円		
（財源内訳）	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	250千円	
（参考） 会計別決算額	会計_款_項目（決算額） 01_10_04_08（250千円）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
129	栗山町への移住・定住を促進します。	「くりやま移住促進協議会」の活動支援、宅地分譲地のPR・販売、移住推進体制の強化、くりやまちょうPR隊（地域おこし協力隊）事業の実施、Uターン促進に向けた奨学金返済の支援 など	若者定住推進課 若者定住推進G 経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	14,598千円	主な事業実績 「くりやま移住促進協議会」が実施する事業へ助成し、「くりやま暮らし体験事業」（体験者数・日数：69人・411日）や道外で開催される移住相談会への出展、旅行雑誌やウェブサイト等による情報発信や、移住相談窓口の整備を行いました。 また、Uターン等促進奨学金助成制度を創設しました。（資格登録者 2人） さらに、移住推進体制を強化するために移住コーディネーターを配置したほか、町の魅力発信のため、2人のくりやまちょうPR隊（地域おこし協力隊）を活用し、町のPR事業を行いました。	
決算額	14,061千円		
（財源内訳）	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	14,061千円	
（参考） 会計別決算額	会計_款_項目（決算額） 01_02_01_22（14,061千円）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
192	くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。	まちの魅力発信や栗山ファンづくりを行う担い手育成、起業や地域貢献を目指す担い手の育成、クリエイターズマーケットの運営を通じたクリエイターの活躍促進、「くりにてするまち 栗山町」のイメージ発信、情報発信力の強化、食を通じた交流事業による栗山ファンの創出 など	若者定住推進課 若者定住推進G

実績

最終予算額	10,372千円	主な事業実績	<p>「くりにてするまち 栗山町」のイメージ確立及び発信に向けた、人材育成、機運醸成、情報発信に係る複合的な諸施策を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○くりやまサポーター育成事業：8人修了 ○クリエイター活躍推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 道内最大ハンドメイドイベントに出展、コンセプトブック製作、動画活用PR、Web広告等 ○総合的情報発信媒体整備事業 <ul style="list-style-type: none"> webサイト運営、情報紙の作成、子育てアプリ（電子母子手帳）運用開始等 ○食を通じたくりやまファン創出 <ul style="list-style-type: none"> 札幌の製菓調理専門学校による町内生産施設の訪問及び生産者との交流会、農作物の講義の実施等 	
決算額	9,994千円			
(財源内訳)	国庫			4,008千円
	道費			700千円
	町債			0千円
	その他			528千円
	一般	4,758千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_22 (1,677千円) 01_02_01_23 (8,317千円)			

(4) 雇用環境

計画策定時の主な課題

- ◆ 町内外の求職者を受け入れる就業機会の確保が必要となっています。
- ◆ 勤労者の労働環境の向上が必要となっています。

施策① 勤労者福祉の推進

- 勤労者の福祉向上と季節労働者の通年雇用化の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
130	勤労者の福祉向上と、季節労働者の通年雇用化を推進します。	勤労者福祉センターの管理運営、南空知通年雇用促進協議会による季節労働者の通年雇用促進支援・資格取得支援 など	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	5,816千円	主な事業実績 勤労者の文化教養並びに福祉の増進を図るため、指定管理委託により勤労者福祉センターを運営しました。 また、季節労働者の通年雇用化を目指すため、南空知通年雇用促進協議会が資格取得支援等を行いました。 ○年間延べ利用人数：11,884人 ○令和元年度通年雇用化人数：4人	
決算額	5,815千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般	5,815千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_05_01_01 (51千円) 01_05_01_02 (5,764千円)		

施策② 雇用環境づくりの推進

- 労働者の職場環境及び労働環境の向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
131	労働者の労働環境の向上を図ります。	町内事業所と労働者に対してアンケートを実施（雇用状態・賃金・福利厚生など）	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	アンケート調査は隔年で実施するため、令和元年度の実績はありません。
決算額	0千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

V 都市基盤

快適でやすらぐふるさとづくり

(1) 道路・交通

計画策定時の主な課題

- ◆道路整備は多額の費用を要するため、必要性や優先順位を精査するなど、計画的な整備が必要となっています。
- ◆老朽度が進んでいる除雪用重機の計画的な更新が必要となっています。
- ◆町営バスの効率的な運行体系の構築、高齢化社会に対応した交通システムなどの検討が必要となっています。
 *町営バス利用者 平成14年度 39,400人（ピーク年）→平成24年度 18,789人
- ◆地域間を運行する民間バス路線の維持、都市間アクセスの向上に向けた検討が必要となっています。

施策① 計画的な道路網の整備

- 幹線町道の計画的な整備
- 道路橋梁の長寿命化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
132	幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。	※前期で終了（事業完了）	建設課 技術G

実績

最終予算額	0千円		
決算額 (財源内訳)	国 道 町 所 一 本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。		
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額）		

No.	計画事業	事業概要	担当課
133	幹線町道杵臼本線の道路改良・舗装を実施します。	道路改良・舗装	建設課 技術G

実績

最終予算額	46,750千円	主な事業実績	道路交通環境の向上を図るため、道路改良・舗装(L=200m)を実施しました。	
決算額	46,750千円			
(財源内訳)	国庫			17,151千円
	道費			0千円
	町債			29,599千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_08_02_05 (46,750千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
134	老朽化した橋梁の点検・修繕を計画的に行います。	定期点検の実施、補修工事	建設課 技術G

実績

最終予算額	46,057千円	主な事業実績	道路交通環境の向上を図るため、橋梁補修工事(1橋)を実施しました。 また、橋梁長寿命化修繕計画(R2~R11)を策定しました。 【施工場所】 ○角栄橋 ○橋梁点検 20 橋	
決算額	46,057千円			
(財源内訳)	国庫			27,466千円
	道費			0千円
	町債			12,075千円
	その他			0千円
一般	6,516千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_08_02_05 (46,057千円)			

施策② 道路環境の整備

- 道路環境の適切な維持・安全確保
- 冬期間の交通確保に係る除雪体制の整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
135	町道の舗装や側溝改修など、道路環境の維持・向上を図ります。	町道補修工事、区画線表示工事、町道維持管理、側溝改修	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	28,174千円	主な事業実績 道路環境の整備や安全確保を図るため、町道の舗装修繕や側溝などの改修を行い、また北海道が実施する町道橋架替工事の負担金を支出しました。 【施工箇所】 ○南大通り歩道改修工事 ○中央通り歩道改修工事	
決算額	28,174千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		28,100千円
	その他		0千円
	一般	74千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_08_02_02 (28,174千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
136	町道の総点検を行い、修繕計画の策定・管理を行います。	道路ストック修繕計画に基づく修繕(南学田御園線、中央通り)	建設課 技術G

実績

最終予算額	19,305千円	主な事業実績 舗装個別施設計画に基づき舗装補修工事を実施しました。 ○南学田御園線舗装補修工事 L=755m	
決算額	19,305千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		17,374千円
	その他		0千円
	一般	1,931千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_08_02_02 (19,305千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
137	冬期間における道路環境の維持・確保を図ります。	効率的かつ効果的な除排雪の実施、除雪用重機の計画的な更新(グレーダー、ロータリー)	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	136,902千円	主な事業実績	冬期間の生活道路の安全確保を図るため、町道の除雪等を実施しました。	
決算額	132,313千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	132,313千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_08_02_03 (132,313千円)			

施策③ 公共交通システムの充実

- 都市間交通アクセスの維持・向上
- 高齢社会に対応できる地域公共交通の確保

No.	計画事業	事業概要	担当課
138	地域間(都市間)交通の確保と利便性の向上を図ります。	民間バス路線確保のため一定の収支率以下の路線に対して補助、都市間(札幌や千歳、北広島方面など)への交通アクセス向上に向けた調査・検討、JR室蘭線の路線維持と利用促進の取組推進 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	8,195千円	主な事業実績	地域間交通の利便性向上及び若者定住の促進を図るため、近隣市町を結ぶ民間バス路線の内、国庫補助基準經常収支率を下回った路線に対し、関係市町との協議に基づき運行経費の一部を補填しました。 ○中央バス岩見沢三川線(3市町):2,113千円 ○中央バス岩見沢長沼線(4市町):2,124千円 ○中央バス岩見沢栗山線(2市町):2,608千円 JR室蘭線の路線維持と利用促進を図るため、沿線自治体にて設置したJR室蘭線活性化連絡協議会に係る市町負担金50千円を支出しました。 また、JR北海道に対する緊急的かつ臨時的な支援に係る市町村支援金として、1,300千円を支出しました。	
決算額	8,195千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			1,800千円
	一般	6,395千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_12 (8,195千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
139	町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。	町営バス・コミュニティバスの運行、利用者ニーズの把握と運行路線等の見直し、計画的な車両（スクールバス等）の更新	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	76,767千円	主な事業実績	町民の買い物や通院など生活に必要な交通手段として、町営バス（1日8路線25便）・コミュニティバス（1日8便）を運行しました 【令和元年度利用実績】 ○バス利用者数：31,798人 ○バス運賃収入：3,612千円	
決算額	74,781千円			
(財源内訳)	国庫			6,081千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			3,612千円
一般	65,088千円			
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_18 (74,781千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
140	買い物弱者等の高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。	※前期で終了（計画事業139に統合）	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
決算額				
(財源内訳)	国庫			
	道費			
	町債			
	その他			
一般				
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
203	新規 持続可能な地域公共交通システムを構築します。	まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークを構築するためのマスタープランとなる、地域公共交通網形成計画の策定	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	29千円	主な事業実績	地域の実情に応じた公共交通のあり方の協議及び利用促進を図るため、地域公共交通活性化協議会を開催しました。	
決算額	22千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	22千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_12 (22千円)			

(2) 住宅・住環境

計画策定時の主な課題

- ◆定住促進に向け、良質低廉な住宅地の供給、定住者への支援制度の検討が必要となっています。
- ◆耐用年数を経過している公営住宅が多く、早期の建替えが必要となっています。
- ◆生活基盤である住環境向上のため、バリアフリーや耐震化などの住宅助成制度の継続が必要となっています。

施策① 計画的な宅地・住宅の整備

- 公営住宅の計画的な整備・改修
- 低廉で快適な住宅地の供給

No.	計画事業	事業概要	担当課
141	公営住宅の整備・改修を行います。	老朽化した公営住宅の建替（曙団地、中央団地継立団地の設計）、地域材（栗山産木材など）の積極的な活用、公営住宅長寿命化計画の見直し など	建設課 技術G

実績

最終予算額	305,953千円	主な事業実績	老朽化した曙団地1棟8戸の建替え及び既存の住宅の解体、中央団地の実施設計等を行いました。 また、松風団地1棟12戸の浴室防水改修を実施しました。	
決算額	305,951千円			
(財源内訳)	国庫			131,898千円
	道費			0千円
	町債			169,626千円
	その他			0千円
	一般			4,427千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_08_05_03 (305,951千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
142	住宅団地の造成を検討します。	新たな住宅団地造成の検討	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	1,257千円	主な事業実績	<p>平成27年度より分譲開始した朝日4丁目(第4期)の販売促進と、分譲地維持のための草刈りの実施と職を購入し販売促進のためのPRを行いました。</p> <p>【販売状況】</p> <p>○朝日住宅団地第4期(全17区画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度販売件数：2件 ・平成28年度販売件数：3件 ・平成29年度販売件数：0件 ・平成30年度販売件数：2件 ・令和元年度販売件数：5件 	
決算額	1,224千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	1,224千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目(決算額) 09_01_01_01(1,224千円)			

施策② 住まいの環境づくり

- 子育て世代などの定住促進に向けた支援
- 老朽化した危険空き家対策の推進
- 安心して長く住み続けられる居住環境の促進

No.	計画事業	事業概要	担当課
143	若者・子育て世代が移住しやすい環境を整備します。	子育て世代の移住者に対する住宅支援(住宅取得助成、中古住宅リフォーム助成、民間賃貸住宅家賃助成、移住促進に向けた情報発信など)、若者・子育て世代向け移住環境の検討・整備、「栗山町空き家バンク」の運営空き家利活用促進支援制度の構築・運用	若者定住推進課 若者定住推進G

実績

最終予算額	5,648千円	主な事業実績	<p>若者・子育て世代の移住者へ住宅に係る費用の一部を助成。</p> <p>また、町内空き家等の利活用の促進を図るとともに移住・定住希望者への住宅情報を提供するため、「栗山町空き家バンク制度」を運営し、ウェブサイトで空き家等の情報を公開し、空き家所有者への支援として、空き家利活用促進事業制度の創設と、空き家利活用セミナーを実施しました。</p> <p>【助成内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新築住宅取得費用助成：2件 ○中古住宅取得費用助成：0件 ○中古住宅リフォーム助成：0件 ○民間賃貸住宅家賃助成：27件 ○空き家利活用促進(家財処分)：1件 ○空き家利活用セミナー開催：26人参加 うち個別相談4人 	
決算額	4,257千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			4,000千円
一般	257千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_22 (4,257千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
144	生活環境の保全と防犯のため、空き家対策に取り組めます。	老朽化した危険家屋（空き家）のうち、町に寄附されたもの撤去	建設課 技術G

実績

最終予算額	92千円	主な事業実績	<p>空き家対策協議会を书面開催（1回）し、空き家対策について協議しました。</p> <p>また、特定空き家については、指導により1棟が解体され、8棟となりました。</p>	
決算額	2千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	2千円		
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_08_05_01（2千円）			

No.	計画事業	事業概要	担当課
145	「人にやさしい住宅助成事業」を実施し、住宅の居住性や住環境の向上を図ります。	住宅のバリアフリー改修、老朽住宅解体、耐震改修に係る費用の一部を助成、リフォーム助成制度の検討	建設課 技術G

実績

最終予算額	4,500千円	主な事業実績	<p>住環境の向上と地域経済活性化を目的として、住宅のバリアフリー改修13件、解体14件の工事に対して助成しました。</p>	
決算額	4,439千円			
(財源内訳)	国庫			1,977千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			1,601千円
	一般	861千円		
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_08_05_01（4,439千円）			

(3) 上・下水道

計画策定時の主な課題

- ◆ 良質な水道水の安定供給のため、浄水場の機器更新と老朽水道管の更新が必要となっています。
- ◆ 下水道管理センターの処理機能維持のため、老朽化した機器の更新が必要となっています。
- ◆ 公共下水道と合併処理浄化槽の処理費用負担の公平性について、検討が必要となっています。
 - * 合併処理浄化槽は個人が設置し、設置後の維持管理・清掃も個人が行っているが、公共下水道供用区域と比較し高負担となっている。

施策① 水道水供給の維持

- 老朽化している水道管及び水道施設等の計画的な更新

No.	計画事業	事業概要	担当課
146	老朽化した水道管を計画的に更新します。	布設後 30 年以上が経過した老朽度の高い塩ビ管を更新	上下水道課 上下水道 G

実績

最終予算額	103,700千円	主な事業実績	安定的な水道水の供給を図るため、老朽化した水道管 2,435m を更新しました。	
決算額	95,000千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			95,000千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 11_01_01_01 (95,000千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
147	水道施設の老朽化した設備を計画的に更新します。	桜山浄水場・各ポンプ場の機器・計装設備を計画的に更新	上下水道課 上下水道G

実績

最終予算額	32,000千円	主な事業実績	安全・安心・安定した水道水の供給を図るため、桜山浄水場内の自家発電機及び流量計を更新しました。	
決算額	31,350千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			30,800千円
	その他			0千円
一般	550千円			
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 11_01_01_03 (31,350千円)			

施策② 公共下水道の維持

- 老朽化している機器の計画的な更新
- 集落排水施設の公共下水道への統合による効率的な処理体制の確立
- 汚水処理費用負担の統一化の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
148	老朽化した下水道施設を計画的に更新します。	更新時期を迎えた機器を計画的に更新	上下水道課 上下水道G

実績

最終予算額	87,651千円	主な事業実績	安定した汚水処理を図るため、下水道管理センターの電気設備機器及びマンホールポンプ機器を更新しました。	
決算額	85,085千円			
(財源内訳)	国庫			45,000千円
	道費			0千円
	町債			35,200千円
	その他			0千円
一般	4,885千円			
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 12_01_01_01 (85,085千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
149	継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。	※前期で終了（事業完了）	上下水道課 上下水道G

実績

最終予算額	0千円	
決算 (財源内訳)	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額）	

No.	計画事業	事業概要	担当課
150	個別排水処理施設整備を推進します。	町の管理による合併処理浄化槽の設置・維持の推進	上下水道課 上下水道G

実績

最終予算額	55,320千円	主な事業実績 衛生的で快適な生活環境を提供し、良好な水環境の保全を図るため、合併処理浄化槽の保守点検や法定検査等を実施し、適正な維持管理に努めました。 また、合併処理浄化槽を5基新設しました。	
決算額	37,064千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		2,500千円
	その他		4,387千円
	一般	30,177千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目（決算額） 12_03_01_01 (37,064千円)		

(4) 河川

計画策定時の主な課題

- ◆異常気象による局地的豪雨や融雪期の増水など、河川の負担が増大しています。
- ◆河川内の樹木・土砂の堆積状況など、計画的な整備が必要となっています。

*町管理河川 37河川 176.4km

施策① 治水・河川環境の整備

- 河川環境の適正な維持管理

No.	計画事業	事業概要	担当課
151	河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。	河川の土砂撤去・倒木除去、円山地区排水路改修、国や道管理河川の適正な維持管理要望	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	17,500千円	主な事業実績 河川環境の維持管理を目的に、浚渫や河川法面補修などを実施しました。 【施工場所】 ○富士川浚渫 ○円山排水路の改修	
決算額	13,576千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
	一般		13,576千円
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_08_03_01 (13,576千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
204	新規 雨煙別川流域河川整備を推進します。	雨煙別川の親水護岸、管理用通路の整備、多目的広場用地購入、屋外トイレ整備、産卵床整備 など	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	1,518千円	主な事業実績	産卵床整備を実施するための整備地選定及び資材確保を行いました。	
決算額	1,394千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般			1,394千円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_08_03_02 (1,394千円)			

(5) 街なみ・景観

計画策定時の主な課題

- ◆ 景観阻害要因の適正な改善に向けたルールづくりが必要となっています。
 - * 老朽化した空き家、管理が行き届いていない空き地、通信鉄塔など
- ◆ 歴史的建造物などを活かした魅力ある景観形成が必要となっています。
- ◆ 人口減少や少子高齢化社会に対応した都市基盤の整備・充実にに向けた取り組みが必要となっています。
 - * 都市計画マスタープラン等に基づく栗山、角田、南部の各地域振興策の実施

施策① 市街地形成の推進

- 新町及び錦地区の魅力ある街なみづくり
- 南部及び角田地域の基盤整備と活性化
- 将来を見据えた栗山市街地の計画的な基盤整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
152	新町地区の再開発整備事業に取り組みます。	新町通街路整備事業（道事業）の実施、街なみ整備（道路・小公園整備など）、(仮称)MARONプラザ改修整備、スマートウェルネス整備など	建設課 技術G

実績

最終予算額	270,260千円	主な事業実績	<p>新町通街路整備事業計画を含む都市再生整備計画事業が平成30年度にスタートし、令和元年度は、町道2路線の改良及び健康遊具の設置の本工事、事業に必要な委託業務の発注、用地等の取得、物件補償を実施しました。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本工事 <ul style="list-style-type: none"> ・菊水通り ・中央1号線 ・健康遊具 ○物件調査 <ul style="list-style-type: none"> ・中央4線 ・栗山駅南交流拠点施設 ○用地買収等 <ul style="list-style-type: none"> ・菊水通り ・栗山駅南公園 ・栗山駅南交流拠点施設 ○物件補償 <ul style="list-style-type: none"> ・菊水通り ・栗山駅南交流拠点施設 <p>※予算残の内61,897千円は、令和2年度予算へ繰り越しました。</p>	
決算額	207,237千円			
(財源内訳)	国庫			82,848千円
	道費			0千円
	町債			123,939千円
	その他			0千円
	一般	450千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_08_04_02 (207,237千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
153	馬追橋の早期架換え要望と、歴史的建造物を活かした錦地区の街並みづくりを検討します。	馬追橋の早期架換え（道事業）に向けた継続要望、小林酒造レンガ倉庫周辺の遊歩道や幹線道路の整備など、錦地区周辺における街並み整備の検討 など	建設課 技術G

実績

最終予算額	426千円	主な事業実績	北海道による馬追橋架換え事業が実施されました。 【主な事業実績】 ○仮道用暫定盛土 ○河道掘削	
決算額	0千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_1_12 (0千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
154	南部公民館の利便性向上に向けた、敷地内の整備を行います。	※前期で終了（事業完了）	建設課 技術G 経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	0千円			
決算額	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。			
(財源内訳)				国
				道
				町
	そ			
一般				
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
155	南部地域振興策を検討します。	継立中学校跡地活用の検討、幹線道路の整備（継立南学田線、清見橋架換）、広域道路網の整備要望、継立団地の建替調査、日出生活館の改築、高齢者対策拠点整備の検討	建設課 技術G 経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	140千円	主な事業実績 旧継立中学校の跡地活用について、活用を希望している企業等との交渉を継続して進めました。 また、夕張市・由仁町との広域道路網の整備に向け、事業実施主体となる北海道に対し、陳情要望を展開しました。	
決算額	0千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_12 (0千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
156	農村環境改善センターの利便性向上に向けた周辺整備を行います。	※前期で終了（事業完了）	建設課 技術G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
決算額			
(財源内訳)	国		
	道		
	町		
	その他		
一般			
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
157	国道 234 号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。	国道整備（拡幅・バイパス化）の継続要望、国道整備に合わせた町道整備の検討、住宅団地造成の検討、角田地区への商業施設誘致など	ブランド推進課 企業・労働G

実績

最終予算額	553千円	主な事業実績	引き続き国道 234 号線の拡幅整備を要望しました。 平成 29 年度で第 4 工業団地の造成工事及び周辺の幹線道路の改修工事が完了しました。 第 4 工業団地の販売促進と造成地維持のため、草刈りを実施しました。 【草刈】分譲区画（6 区画）＋緑地 26,286 ㎡	
決算額	553千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	553千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 10_01_01_01 (553千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
158	栗山駅南側の機能性を高める道路・駐車場整備を行います。	※前期で終了（計画事業 152 に統合）	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	0千円	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。	
決算額			
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
159	まちの将来像を見すえた栗山市街地及び北部地区の整備を検討します。	南大通り延伸（長沼町間）に向けた継続要望（北海道事業）、富士・中里地区の字名改正と5丁目構想の検討、御大師山や湯地・鳩山地区などの一体的な景観・観光振興構想の策定など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	広域道路網の整備（南大通り延伸）に向けて北海道に対し、道道昇格認定についての要望を実施しました。	
決算額	0千円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			
	一般			0千円
	(参考) 会計別決算額			会計_款_項_目 (決算額)
	会計別決算額			

施策② 景観づくりの推進

- 町民と行政の協働による景観づくり

No.	計画事業	事業概要	担当課
160	景観資源の保全・活用を図ります。	栗山町景観条例・景観計画に基づく景観づくりの推進、景観写真コンテストの実施 など	建設課 技術G

実績

最終予算額	246千円	主な事業実績	景観施策の一環として、栗山町の新たな景観資源の発掘を目的とした第6回くりやま景観フォトコンテストを実施しました。 57人133点の応募があり、応募作品はカルチャープラザでの展示や町ホームページへ掲載しました。	
決算額	225千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他	0千円		
一般	225千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)			
会計別決算額	01_08_04_01 (225千円)			

施策③ 公園・緑地の整備

- 安全で安心して遊ぶことのできる魅力的な公園づくり
- 御大師山周辺の環境整備と利便性向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
161	老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。	老朽化した公園施設の修繕(29所)・更新(32カ所)	建設課 技術G

実績

最終予算額	7,978千円	主な事業実績	錦児童公園のトイレを更新しました。	
決算額	7,966千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			7,900千円
	その他			0千円
	一般	66千円		
(参考) 会計別決算額	会計款項目(決算額) 01_08_04_03 (7,966千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
162	御大師山周辺(栗山公園等)の散策路・施設等の計画的な改修・整備を進めます。	散策路修繕・順路看板設置、展望デッキ整備、御大師山周辺案内看板の設置 など	建設課 技術G

実績

最終予算額	5,520千円	主な事業実績	栗山公園の展望台周辺整備、散策路4箇所(路肩、木橋、階段)を修繕しました。	
決算額	5,520千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			5,300千円
	その他			0千円
	一般	220千円		
(参考) 会計別決算額	会計款項目(決算額) 01_08_04_03 (5,520千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
163	御大師山周辺ガイドブックを作成し、散策路・周辺施設の利活用を促進します。	周辺ガイドブックの作成	建設課 技術G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	御大師山周辺の環境整備と利便性向上を図るため、御大師山周辺環境整備事業関係団体連携会議において、御大師山のルートの見直しと合わせたガイドマップの内容について協議しました。
決算	円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

VI 地域経営

みんなが主役のふるさとづくり

(1) コミュニティ活動

計画策定時の主な課題

- ◆まちづくり協議会活動の地域住民への浸透と、さらなる活動の活性化が必要となっています。
*まちづくり協議会～栗山市街地8組織及び継立地区の計9組織（農村地域は未設置）
- ◆まちづくりの担い手として、NPO法人の安定的な活動継続と運営基盤の確保が求められています。
- ◆多様な地域課題の解決のため、大学の専門的知識の活用を促す取り組みが必要となっています。
*協定大学～北海商科大学、北星学園大学、酪農学園大学、北海道大学農学部

施策① コミュニティ活動の支援

- 地域組織の活動支援など町民主体のまちづくりの推進
- 特定非営利活動法人（NPO法人）の設立及び活動支援
- 協定大学が持つ専門的情報の活用と学生交流の推進
- 町民自ら考え、地域のために実施する公益活動の支援

No.	計画事業	事業概要	担当課
164	まちづくり協議会などの地域活動を支援します。	まちづくり協議会の活動に対して交付金を交付（運営費・防災事業・福祉等その他事業）、地域支援職員の配置、町内会・自治会の区域再編に対する支援制度の創設 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	3,327千円	主な事業実績 地域コミュニティの推進を図るため、まちづくり地域交付金の交付やまちづくり地域支援職員の配置など、まちづくり協議会に対する活動支援を実施しました。 ○協議会設置数：10協議会 ○地域支援職員配置数：83人	
決算額	2,478千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		300千円
	一般	2,178千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_12 (2,478千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
165	NPO法人などの公益活動に対する支援を充実します。	NPO法人設立・活動相談、個人町民税寄附金税額控除制度の運用、研修会の開催、各種助成制度の紹介 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	30千円	主な事業実績	<p>NPO法人設立に関する相談・受付窓口の設置（権限委譲事務）、年度末事業報告や定款変更等の受理、各種助成・融資制度の周知を実施しました。</p> <p>なお、研修事業については、コロナ禍のため未実施としました。</p> <p>○町内NPO法人数：7法人</p> <p>○町条例指定NPO法人の認定：2法人</p>	
決算額	0千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_02_01_12 (0千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
166	協定大学と連携し、コミュニティ活動への情報・学術等の支援を行います。	協定大学による実習・演習などの受入と学術成果の共有、大学教員などの専門的知見活用、大学講座事業（出前型）の実施 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	<p>連携大学の専門的知識を活用し、多様化する地域課題の解決や特色あるまちづくりの推進、人材育成など、コミュニティ活動の推進を図るため、各担当課において協定大学と連携した事業を行いました。</p> <p>【主な実績】</p> <p>○農業調査実習及び農繁期の農業支援として北海道大学の学生を町内農家に受け入れました。</p> <p>○社会教育事業において、酪農学園大学と連携し、町内の子どもたちと一緒に農作業体験を行ったほか、札幌大谷大学との連携による農作業体験、東海大学との連携による環境保全演習などを行いました。</p>	
決算額	0千円			
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。			
				0千円
				0千円
				0千円
一般	0千円			
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額）			

No.	計画事業	事業概要	担当課
167	町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援します。	NPO・ボランティア団体などが連携・協力する提案事業（新たな活性化事業）を支援	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	1,127千円	主な事業実績	<p>町民自ら考え、地域のために実施する様々な活動により、魅力あるまちづくりの推進と地域の活性化を図るため、町民団体相互の連携による新たな活性化事業を支援しました。</p> <p>【地域活性化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栗山駅前花壇づくり事業 <p>【まちの魅力アップ応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぐるっと栗山スタンプラリー ○町内児童の地域魅力再発見事業 ○栗山でつながるくりにエィティブの輪 ○ふるさと田舎まつり 2019 実行委員会 ○ままっこ Café の手づくりランチ 	
決算額	1,127千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
その他	100千円			
一般	1,027千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_12 (1,127千円)			

(2) 行政経営

計画策定時の主な課題

- ◆より効率的・効果的な行財政運営に向けての仕組みづくりが必要となっています。
- ◆多様化する住民ニーズに的確に対応できる職員育成や意識改革が求められています。
- ◆行財政改革を継続的に推進する必要があります。
- ◆人口減少や地域経済が低迷する中、広域連携による事業の検討が必要となっています。

施策① 効果的な行財政運営の推進

- 総合計画に基づく効果的な施策・事業の展開
- 中長期的に堅実で安定した財政運営の推進
- 適正・公平・公正な徴収及び滞納対策と納税者の利便性・サービス向上
- 町有施設の計画的な整備及び維持管理
- 公共施設等の管理情報の一元化及び中長期的管理計画の策定

No.	計画事業	事業概要	担当課
168	総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改善・見直しを図ります。	計画事業評価（各担当自己評価・外部評価・理事者評価）の実施、施策評価（前期4年目・後期3年目）の実施	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	333千円	主な事業実績	町長、副町長、事業担当課による自己評価を行う「内部評価」と、町民目線の客観的な評価と提言を行う「外部評価」の結果を踏まえて、次年度の予算編成や新規施策の企画立案に反映しながら継続的に事業を改善し、PDCAサイクルによる実効性のある事業の展開につなげました。（評価結果は公表済み） ①内部評価事業数：188事業 ②外部評価事業数：①のうち3事業	
決算額	311千円			
（財源内訳）	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	311千円		
（参考） 会計別決算額	会計款_項目（決算額） 01_02_01_12（311千円）			

No.	計画事業	事業概要	担当課
169	限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営を推進します。	中長期財政計画に基づく財政運営、効果的な予算編成手法の検討・導入、財政健全化条例の制定 など	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 歳入の 3/4 を国や道からの依存財源で占めていますので、国の動向を注視しながら、事業実施に必要な、補助金の活用や地方債の発行など必要な財源確保に努めました。 財政運営に大きく影響する次の 3 指標のうち、将来負担比率は前年度から改善されています。 ①財政調整基金：年度末現在高 540,214 千円 （前年比 68,843 千円減） ②実質公債費比率：11.4%（前年比 0.8 ポイント増） ③将来負担比率：62.9%（前年比 11.5 ポイント減）
決算	円	
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)	

No.	計画事業	事業概要	担当課
170	自律したまちづくりのため、行財政改革を推進します。	行財政改革推進計画の進捗管理、町財政の中長期試算の見直し、行財政改革取組状況の公表	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 栗山町第 6 次総合計画に掲げる施策目標の実現のための必要な財源の確保、捻出、また、将来にわたって安定的な行政経営の基礎となる財政基盤の確立、行政システムの見直しなどを図ることを目的として策定した栗山町第 4 次行財政改革大綱（平成 27 年度～令和 4 年度）に基づき、推進しました。 令和元年度は、公共施設マネジメントによる維持補修財源の確保、地域おこし協力隊と連携したふるさと納税PRの取組を実施しました。
決算	0千円	
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)	

No.	計画事業	事業概要	担当課
171	各種統計データにより、町勢の現状を分析し、まちづくりに活用します。	国勢調査など各種統計調査結果の分析と活用、町民経済計算の実施、統計資料（情報）の公表 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	33千円	主な事業実績	<p>基幹統計調査及び一般統計調査の結果について公表したほか、各調査データを基に「2020年版ポケット統計」を作成・発行しました。</p> <p>○ポケット統計の発行数：1,000部</p>	
決算額	33千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	33千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_05_01 (33千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
172	町税収入等の収納率向上に努めます。	滞納管理システムによる滞納対策強化、コンビニエンスストアにおける町税等の納付推進、クレジット収納等の調査検討 など	税務課 収納G

実績

最終予算額	1,292千円	主な事業実績	<p>平成26年度に導入した滞納管理システムを活用し、差押等の事務を効率化しました。</p> <p>財産調査は561件実施（前年比11件減）し、滞納処分は121件実施（前年比11件増）しました。</p> <p>コンビニ利用件数は、9,198件（前年比306件減）の利用があり、このうち、土日の利用は24.5%となっており、納付の利便性の向上が伺えます。</p> <p>収納率は前年度比2.49ポイント上昇しました。</p> <p>また、納税環境の充実に向けて、クレジット収納はじめスマートフォン決済など、費用対効果を考慮しながら引き続き検討します。</p>	
決算額	1,265千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			1,084千円
	町債			0千円
	その他			0千円
	一般	181千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_02_02 (1,084千円) 02_01_03_01 (129千円) 07_01_02_01 (37千円) 08_01_02_01 (15千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
173	町有財産の適切な維持・整備を進めます。	長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	建設課 総務管理G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	施設の長寿命化を図るため「個別施設計画」を施設所管課毎で策定に着手しました。
決算	円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
174	公共施設等総合管理計画を策定し、計画的に老朽化対策を進めます。	公共施設等の維持管理・安全確保・修繕・更新・統廃合などに関わる中長期的な実施方針（総合管理計画）の運用	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	公共施設総合管理計画に基づき、各施設の点検及び個別施設計画策定に着手しました。
決算	千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

施策② 効果的な行政体制の構築

- 町民ニーズに的確に対応できる職員育成と意識改革
- 新たな行政ニーズや社会環境の変化に対応した組織体制の構築

No.	計画事業	事業概要	担当課
175	時代に対応できる行政職員を育成します。	国・道などへの職員派遣、職員提案型の自己啓発研修、各関係機関による研修プログラムへの参加、職階ごとの研修会開催 など	総務課 総務G

実績

最終予算額	2,110千円	主な事業実績 職員研修計画により研修を実施しました。 【主な実施内容】 ○職員自主提案による自己啓発研修：5人 ○自治大学校：2人 ○町村会主催研修：12人（基礎・初級研修他） ○職員研修センター研修：21人 ○全職員を対象とした研修会の開催：1回	
決算額	1,842千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		300千円
	一般	1,542千円	
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額) 01_02_01_01 (1,842千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
176	効率的で満足度の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築します。	機能的な組織体制構築と人員配置、職員数適正化の推進	総務課 総務G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 栗山町職員人材育成基本方針に基づき、人材育成のための総合的・戦略的な人事管理を進めるため、人事評価制度の仕組み構築に向け検討中です。 ○職員数：R2年4月1日現在144人（前年同日143人、参考：平成18年度同日181人）	
決算	円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
			円
			円
			円
(参考) 会計別決算額	会計_款_項目 (決算額)		

施策③ 行政情報化の推進

- 行政事務の効率化と町民サービスの向上

No.	計画事業	事業概要	担当課
177	情報システムの活用により、行政事務の効率化および町民サービスの向上を図ります。	行政情報システムの適正な維持・管理・更新、社会保障・番号制度の導入・推進、電子自治体の推進 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	38,360千円	主な事業実績 各種情報システムの導入により、関係事務の効率化を図り、サービスの向上に向けた管理・運用を継続して行ったほか、住民情報系・内部情報系システムなどを更新しました。 また、行政情報システムの共同利用及びアウトソーシングの推進を図るため、北海道電子自治体共同運営協議会へ参加し、情報システムの共同利用を行いました。	
決算額	38,360千円		
(財源内訳)	国庫		2,391千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		5千円
一般	35,964千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_19 (38,360千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
178	情報通信基盤・機器の活用により、行政事務の効率化および町民サービスの向上を図ります。	情報通信基盤・機器の適正な維持・管理・更新、民間事業者に対する町内ブロードバンドサービスエリアの拡大要望 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	19,854千円	主な事業実績 各種情報通信機器、情報機器を導入し、関係事務の効率化を図り、サービスの向上に向けたネットワーク等の管理・運用を継続して行いました。 併せて、個人情報等の漏えいを防止するために必要な対策の管理、または調査・検討を継続して行いました。 東日本電信電話株式会社、ブロードバンドサービスエリア拡大の継続要望を行いました。	
決算額	19,787千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	19,787千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_19 (19,787千円)		

施策④ 広域行政の推進

- 広域連携による効率的な行政運営の推進

No.	計画事業	事業概要	担当課
179	地域振興策や事務共同処理の検討など、広域連携の推進を図ります。	南空知ふるさと市町村圏組合への参画（4市5町）、南空知4町広域連携検討会議への参画（南幌町、由仁町、長沼町）、学生地域定着推進広域連携協議会（江別市内4大学と広域8市町）への参画、北海道空知地域創生協議会（振興局と管内全市町）への参画	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	1,858千円	主な事業実績 <ul style="list-style-type: none"> ○南空知地域の広域的な地域づくりや自立発展、効率的な行政運営体制の構築を図るため、南空知ふるさと市町村圏組合に加盟し各種ソフト事業を行いました。 ○岩見沢市を事務局とした南空知地域における新たな広域連携の取り組みに参画し、協議を実施しました。 ○南空知4町広域連携事業では南空知マルシェの開催やサイクル観光事業、移住・定住相談ブースの首都圏での出展、北海道情報誌への農産物PR記事の掲載を行いました。 ○江別市内4大学と広域8市町連携による学生地域定着自治体連携プロジェクトでは、地域への学生ボランティア受け入れ等を行いました。 ○振興局と管内市町連携による北海道空知地域創生協議会では知名度向上や交流事業等を行いました。 ○北広島市を事務局としたオール北海道ボールパーク連携協議会に参画し、「食の魅力提供」「周遊策」「スポーツ・人づくり」をテーマとした各分科会において、連携策の協議を行いました。 	
決算額	1,674千円		
(財源内訳)	国庫		149千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		318千円
	一般		1,207千円
(参考) 会計別決算額	会計款項目（決算額） 01_02_01_12 (1,674千円)		

(3) 情報共有と町民参加

計画策定時の主な課題

- ◆ 政策情報を町民に分かりやすく伝える情報公開・提供の仕組みの充実が必要となっています。
- ◆ 若年層を含めた町民参加の充実に向けて、多様な仕組み・機会づくりが必要となっています。
- ◆ 運用実態を踏まえた自治基本条例の見直しの必要性があります。

施策① 行政情報の公開・提供

- 町広報やホームページ等を通じた行政情報等の積極的な発信
- 情報公開による行政運営の透明性確保
- 政策・財政情報の発信など町民との情報共有の推進
- コミュニティ活動の活性化に向けた情報共有インフラの整備

No.	計画事業	事業概要	担当課
180	広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信します。	広報くりやまの発行（毎月）、町勢要覧の発行、暮らしのガイドブックの発行、公式ホームページの運営 など	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	10,104千円	主な事業実績	<p>広報くりやまでは、町の行事や、行政からのお知らせ、栗山青年会議所や地域おこし協力隊などの活動を連載コラムとして掲載するほか、生涯学習情報誌「マナビィ」で自然教育の活動やイベントなどに参加した子どもたちの感想などを掲載しました。</p> <p>町内の出来事を後世に残すため、新町通りや旭台工業団地などの撮影、第50回栗山マラソン大会の映像などを収録しました。</p> <p>町ホームページは各課所などと連携を図りながら、町内で行われた各種事業・イベントなどの情報を「新着情報」や「まちのニュース」に掲載しました。また、令和2年度のホームページ更新に向けて、庁内検討委員会を立ち上げ、より見やすくわかりやすいホームページの作成に向けた協議を進めました。</p>	
決算額	10,056千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			23千円
	町債			0千円
	その他			2,595千円
	一般	7,438千円		
(参考) 会計別決算額	会計款_項目 (決算額) 01_02_01_02 (10,056千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
181	町が保有する公文書の適切な公開と情報提供を推進します。	栗山町情報公開条例などに基づく適切な情報公開・提供、公開請求事案に応じた情報公開・個人情報保護審査会の開催 など	総務課 総務G

実績

最終予算額	128千円	主な事業実績 公文書の公開及び個人情報の取扱いについて、法令等に基づく適正な対応を行いました。 【主な実績】 ○町が保有する情報への請求に応じた公開 ・介護保険要介護認定等に係る情報提供：462件 ・情報公開条例第10条の規定に基づく公文書公開請求：3件 ○情報公開・個人情報保護審査会 ・不服申し立て件数なしにつき、未開催	
決算額	0千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_19 (0千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
182	予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。	財政情報の町広報掲載、予算説明書および決算説明書の発行 など	経営企画課 行政経営G

実績

最終予算額	1,997千円	主な事業実績 町財政に関する理解の浸透と情報共有を推進するため、予算、決算などの財政情報を町民にわかりやすく発信するよう努めました。 【主な公表】 ○町広報誌：2回（4月、10月） ○予算説明書の全戸配布（5月） ○決算説明書の公表（10月公共施設配置） ○町ホームページへの掲載	
決算額	1,955千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	1,955千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_01 (1,955千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
183	自治基本条例に基づき、町民への情報提供に関する仕組みを充実します。	各種計画・条例策定プロセスの公表、審議会等の情報公開、出前型政策説明（懇談）制度の運用 など	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	<p>自治基本条例第16条の規定に基づく町民への情報提供に関する仕組みを充実することにより、政策情報の共有や町民参加の推進など、町政に対する町民の理解、関心度の向上を図るため、各種計画等の公表や各種審議会情報等の公開を行いました。</p> <p>また、出前型政策・施策説明会を実施しました。</p> <p>○出前型政策・施策説明会利用件数：1件（15人）</p>
決算	0千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
	千円		
	千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
184	栗山町史（平成史）を編集・発刊します。	平成元年から平成30年の平成史版の発行	経営企画課 地域政策G

実績

最終予算額	2,053千円	主な事業実績	<p>平成期における社会情勢や町政情報等を町史としてまとめ、後世へと伝承していくことにより、今後のまちづくりの指針として活用するほか、町民の歴史意識の高揚を図るため、町史発刊を目指し、町史編さん作業を進めました。</p>	
決算額	2,032千円			
(財源内訳)	国庫			0千円
	道費			0千円
	町債			0千円
	その他	0千円		
一般	2,032千円			
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_12 (2,032千円)			

No.	計画事業	事業概要	担当課
185	開拓130周年記念事業を行います。	※前期で終了（事業完了）	総務課 総務G

実績

最終予算額	0千円		
決算額	本計画事業は、前期計画期間（H27～H30）で完了しました。		
（財源内訳）			
国庫			
道費			
町債			
その他			
一般			
（参考）	会計_款_項_目（決算額）		
会計別決算額			

No.	計画事業	事業概要	担当課
186	コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。	運営組織の設立、放送局施設整備、防災ラジオの購入・配布	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	放送局の開局に向けた情報収集を行うため、伊達市、ニセコ町、岩見沢市へ視察訪問をしたほか、北海道総合通信局と意見交換などを行いました。 栗山コミュニティFM構想(案)の策定に着手しました。
決算額	千円		
（財源内訳）	令和元年度の予算配当・執行はありません。		
国庫	千円		
道費	千円		
町債	千円		
その他	千円		
一般	0千円		
（参考）	会計_款_項_目（決算額）		
会計別決算額			

施策② 町政への町民参加の推進

- 町政に対する町民ニーズ・意見等の把握と参加機会の充実

No.	計画事業	事業概要	担当課
187	町長のまちづくり懇談会やふれあい訪問を行い、町政への町民参画を推進します。	町内会・自治会長や各地域、各種団体などを対象とした懇談会の開催（充実）、職場などへのふれあい訪問の実施	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	66千円	主な事業実績 まちづくり懇談会は、春に町内会長・自治会長および、市街地・北部地区、角田・中部地区、継立・南部地区に分け4回実施（6月11日～14日：97人）、秋に各地区へ出向き全町民を対象に行いました（10月15日～11月21日の14日間 計25回：284人）。開催にあたっては、懇談を活発にするため町内会・自治会に、事前に質問・意見の聞き取りを行い、参加者の増加を図りました。町広報紙、町ホームページなどを活用して開催告知を行い、広報車で放送巡回して参加を呼びかけました。また、栗山青年会議所との団体懇談を実施しました。	
決算額	56千円		
(財源内訳)	国庫		0千円
	道費		0千円
	町債		0千円
	その他		0千円
一般	56千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額) 01_02_01_02 (56千円)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
188	日常的な町民との情報共有制度「くりやまキャッチ・ボイス」を運用します。	ハガキ・FAX・メールにより日常的な町民の疑問・意見などを受理し、原則2週間以内に回答する仕組みの構築・運用	総務課 広報・防災 ・情報G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績 はがきやFAX、ホームページにより30件の投書があり、要望が21件、質問・相談が8件、提案が6件ありました（複数の投書あり）。また、2カ月ごとにキャッチ・ボイスの専用はがきを町広報に折り込み、町民のニーズや意見などを把握するように心掛けました。	
決算額	千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・執行はありません。		0千円
	0千円		
(参考) 会計別決算額	会計_款_項_目 (決算額)		

No.	計画事業	事業概要	担当課
189	自治基本条例に基づき、多様な世代に対する町民参加機会を充実します。	町政の重要課題に対する町民参加機会の充実、審議会等の委員公募の推進、子どもたちづくり参加（体験）の推進 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	町広報及びホームページにて審議会等の委員公募情報や会議傍聴情報を公開しました。
決算	0千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)		
会計別決算額			

施策③ 自治基本条例の見直し

- 条例の運用実態を踏まえた見直しの検討

No.	計画事業	事業概要	担当課
190	町民参加により、栗山町自治基本条例の見直しを行います。	先進自治体研究、行政内見直し委員会の設置・検討、(仮)町民見直し委員会の設置・検討、啓発パンフレット配布 など	経営企画課 地域政策 G

実績

最終予算額	0千円	主な事業実績	平成 28 年度に見直しを行っていることから、次回は令和 2 年度に見直しを予定しています。
決算	0千円		
(財源内訳)	令和元年度の予算配当・ 執行はありません。		
(参考)	会計_款_項_目 (決算額)		
会計別決算額			